

令和4年度 一般会計決算附属資料

健康長寿福祉部 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							615千円	616千円	1千円	99.8 %
	目	01 社会福祉総務費										(参考)当初予算額
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務										217千円
課	生活福祉課											
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府負	行旅死亡人取扱費負担金	377千円						
目的	市内において、旅行中に死亡し身元の分からない方や、市内で死亡し引取者のない方に対し、行旅病人及行旅死亡人取扱法又は墓地、埋葬等に関する法律に基づき縁故者に代わって援助措置を行う。			諸収入	行旅死亡人遺留品	201千円						
主要な事務・事業の概要	○「墓地、埋葬等に関する法律」に基づくもの		615千円									
	<p>京丹後市内において、葬祭、火葬又は埋葬をする者がいないとき又は判明しないときは、墓地、埋葬等に関する法律により、死亡地の市町村長が、これを行わなければならない。 該当者（4体）について、葬祭、火葬を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（棺、骨箱等） 262千円 ・死体検案書作成手数料 50千円 ・遺体搬送料 68千円 ・火葬料 60千円 ・遺体処置料 40千円 ・霊安室使用料 135千円 											
				成果・課題	墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							727千円	729千円	2千円	(参考)当初予算額
	目	01 社会福祉総務費										
	事業	03 暮らしの資金貸付事業										
課	生活福祉課	240千円										
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		諸収入 暮らしの資金貸付金元金収入									
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、暮らしのための緊急に必要とする資金の貸付を行い、自立更生及び生活意欲の促進を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○暮らしの資金貸付金 550千円		貸付を希望する一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、面談による状況聴取を行い、申請を受け付けて貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。									
	《貸付実績》											
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						
	申請件数	8件	2件	3件	6件	13件						
貸付件数	7件	1件	3件	4件	6件							
貸付金額	890千円	45千円	300千円	310千円	550千円							
○貸付金管理台帳システム委託料（保守）		130千円										
○需用費（消耗品費、印刷製本費）		47千円										
成果・課題	○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○収入や一時的な困窮などの対象要件に合致しない相談者には、他の支援につないだ。											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																					
	項	01 社会福祉費							23,537千円	24,110千円	573千円	97.6 %																	
	目	01 社会福祉総務費										(参考)当初予算額																	
	事業	05 民生児童委員活動事業										24,310千円																	
課	生活福祉課																												
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金	12,025千円																							
目的	民生委員・児童委員の活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、委員活動の充実を図る。 また、民生委員の任期満了に伴い、民生委員推薦会及び各町域での民生委員推薦準備会を開催し、円滑な改選を目指す。			府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金	71千円																							
				府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金	1,018千円																							
				府補	民生委員推薦会事業費補助金	45千円																							
			諸収入	市有自動車損害共済金	101千円																								
主要な事務・事業の概要	○民生委員推薦会・推薦準備会		695千円	○民生委員・児童委員活動費補助金		21,761千円																							
	・推薦会経費（3回・14人）		111千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>委員数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>41人</td> <td>4,439千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>31人</td> <td>3,382千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>45人</td> <td>4,849千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>26人</td> <td>2,857千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>19人</td> <td>2,123千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>38人</td> <td>4,111千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200人</td> <td>21,761千円</td> </tr> </tbody> </table>			委員数	補助金額	峰山町	41人	4,439千円	大宮町	31人	3,382千円	網野町	45人	4,849千円	丹後町	26人	2,857千円	弥栄町	19人	2,123千円	久美浜町	38人	4,111千円	合計	200人	21,761千円
		委員数	補助金額																										
	峰山町	41人	4,439千円																										
	大宮町	31人	3,382千円																										
	網野町	45人	4,849千円																										
	丹後町	26人	2,857千円																										
	弥栄町	19人	2,123千円																										
	久美浜町	38人	4,111千円																										
	合計	200人	21,761千円																										
・推薦準備会経費（各町2～3回）		584千円	※2か月（2・3月）1人欠員																										
○感謝状・委嘱状伝達式		714千円	※1か月（12月）1人欠員																										
・退職委員記念品（2,200円×94人分）		207千円																											
・送迎費用（バス運転委託料、燃料費等）		175千円																											
・一斉改選に伴う感謝状、名札、紹介パンフレット等		253千円																											
・会場使用料		79千円																											
○研修会等経費		367千円	※委員数については、改選後、令和4年12月～の人数																										
・旅費、有料道路通行料		17千円	※新委員の任期：令和4年12月1日～令和7年11月30日																										
・送迎費用（バス運転委託料、燃料費等）		307千円																											
・会場使用料		43千円																											
■市民生児童委員協議会実施研修会（全員研修会）																													
日付：令和5年3月21日 場所：丹後文化会館 参加者数：197人																													
■単位民生児童委員協議会実施研修会																													
町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	成果・課題																						
回数	10回	5回	19回	5回	3回	4回																							
				○一斉改選を行い、新たな民生児童委員を委嘱することができた。																									
				○民生児童委員活動に補助金を交付し、活動を支援した。																									
				○全員研修会を実施し、民生児童委員の資質向上を図った。																									
				○複雑なケースが増加する中、民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く負担が大きくなっているため、負担軽減についての検討を継続して実施していく必要がある。																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部						
	項	01 社会福祉費							782千円	815千円	33千円	(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費												
	事業	06 戦没者追悼事業												
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		府補	援護事務交付金(10/10)		143千円								
目的	戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、平和を祈念する。 また、戦没者等の遺族に対する第十一回特別弔慰金の申請受付事務を行う。			主な財源										
主要な事務・事業の概要	○京丹後市戦没者追悼式(参列者数:208人) 開催日:令和4年11月16日 場 所:京都府丹後文化会館 ・需用費(祭壇) 225千円 ・役務費(クリーニング代ほか) 61千円 ・委託料(送迎用マイクロバス運転委託料) 16千円 ・使用料及び賃借料(送迎バス借上料、会場借上料) 335千円 ※新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施		637千円		○戦没者等の遺族に対する特別弔慰金受付事務経費 基 準 日 : 令和2年4月1日 請 求 期 間 : 令和2年4月1日~令和5年3月31日 受 付 人 数 : 958人(令和5年3月31日時点) 額 面 : 25万円(5年償還の記名国債) ・通知書等郵送料 6千円		6千円							
	○京都府戦没者追悼式(参列者数:13人) 開催日:令和4年10月18日 場 所:国立京都国際会館(京都市) ・旅費(随員職員旅費) ※新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小し実施		2千円	○その他(援護事務に係る経費) ・需用費(消耗品費) 137千円		137千円								
				成果・課題	○戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦後75年以上が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくのかが、大きな課題となっている。 ○戦没者遺族の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少していることから、開催内容等について、検討する必要がある。 ○戦没者等の遺族に対する第十一回特別弔慰金の申請について、広報等で周知を図るとともに、申請を受付け、国へ進達した。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																					
	項	01 社会福祉費							69,674千円	69,674千円	0千円	(参考)当初予算額	課	生活福祉課															
	目	01 社会福祉総務費																											
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業																											
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源																										
目的	京丹後市社会福祉協議会事務職員の人件費の補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、社会福祉活動の充実を図る。																												
主要な事務・事業の概要	○社会福祉協議会運営費補助金		69,674千円																										
	※社会福祉協議会の補助対象職員：18人																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助対象職員数</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>19人</td> <td>67,500千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19人</td> <td>67,500千円</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>19人</td> <td>66,840千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17人</td> <td>71,264千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>17人</td> <td>65,265千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>18人</td> <td>69,674千円</td> </tr> </tbody> </table>			補助対象職員数	補助金	H29	19人	67,500千円	H30	19人	67,500千円	R元	19人	66,840千円	R2	17人	71,264千円	R3	17人	65,265千円	R4	18人	69,674千円						
	補助対象職員数	補助金																											
H29	19人	67,500千円																											
H30	19人	67,500千円																											
R元	19人	66,840千円																											
R2	17人	71,264千円																											
R3	17人	65,265千円																											
R4	18人	69,674千円																											
社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。																													
		成果・課題		社会福祉協議会本所及び6支所の事務職員人件費の補助を行うことで、協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費				100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事業	09 災害見舞金等事業				400千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	被災された市民に対し見舞金・弔慰金を支給し、被災者の生活を支援する。							
主要な事務・事業の概要	○災害見舞金		250千円					
	・火災によるもの：5件							
			全 焼		部分焼			
		件数	見舞金	件数	見舞金			
住	家	5件	250千円	0件	0千円			
非	住 家	0件	0千円	0件	0千円			
				成果・課題	京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害見舞金を支給することで、被災者の生活を支援することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部					
	項	01 社会福祉費							29千円	29千円	0千円	100.0 %	
	目	01 社会福祉総務費											(参考)当初予算額
	事業	10 地域再建被災者住宅等支援事業											
課	生活福祉課	府補 地域再建被災者住宅等利子補給補助金 (10/10)		29千円									
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源										
目的	平成29年台風18号災害で住宅等に被害を受けた市民が行う被災住宅の再建等に対し補助金を交付することにより、被災住宅の復旧を図る。												
主要な事務・事業の概要	○地域再建被災者住宅等利子補給補助金 1件 29千円 被災住宅の再建等に要する住宅金融支援機構の災害復興融資（建設・改良資金の借入れ）の利子を支援												
	成果・課題	平成29年台風18号災害で床上浸水の被害を受けた住宅を再建するために補助金を交付し、被災住宅の復旧を支援することができた。											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部															
	項	01 社会福祉費							13,661千円	13,917千円	256千円	98.1 %											
	目	01 社会福祉総務費										(参考)当初予算額											
	事業	12 峰山総合福祉センター-管理事業										11,842千円											
課	生活福祉課																						
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	使用料	峰山総合福祉センター-使用料	219千円																	
目的	福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能を維持管理する。			使用料	公有財産使用料	41千円																	
				諸収入	職員労働組合事務所水道使用料負担金	6千円																	
主要な事務・事業の概要	○峰山総合福祉センター維持管理経費 13,661千円 ・消耗品費（清掃・衛生消耗品、蛍光灯ほか） 110千円 ・燃料費（冷暖房用灯油代） 2,228千円 ・光熱水費（電気、上下水道） 5,675千円 ・修繕料 663千円 （空調設備修繕、コミュニティホール照明修繕ほか） ・通信運搬費（FAX通信料、火災通報用回線通信料） 107千円 ・手数料（貯水槽法定検査、地下タンク検査） 115千円 ・火災保険料 39千円 ・日直代行業務委託料（業務時間外・休日・祝日貸館対応） 1,343千円 ・施設清掃委託料（センター内清掃） 448千円 ・設備維持管理及び保守点検業務委託料 2,563千円 （自家用電気工作物保安管理、消防設備、エレベーター保守ほか） ・土地借上料（公用車駐車場403㎡） 350千円 ・清掃用具借上料 20千円			[参考] 峰山総合福祉センター利用実績																			
						<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティホール</td> <td>163件</td> <td>5,522人</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>81件</td> <td>2,636人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td>25件</td> <td>1,338人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> <td>14件</td> <td>848人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>283件</td> <td>10,344人</td> </tr> </tbody> </table> ※利用件数及び利用人数は、利用申請書により計上。		利用件数	利用人数	コミュニティホール	163件	5,522人	研修室	81件	2,636人	和室1	25件	1,338人	和室2	14件	848人	合計	283件
	利用件数	利用人数																					
コミュニティホール	163件	5,522人																					
研修室	81件	2,636人																					
和室1	25件	1,338人																					
和室2	14件	848人																					
合計	283件	10,344人																					
成果・課題				○適正な施設管理により福祉事務所の機能維持を図るとともに、総合福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、今後も計画的に維持管理を行っていく必要がある。																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	961千円	1,045千円	84千円	91.9%											
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課									
	事業	14 災害時要配慮者支援事業				1,257千円											
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		府補	きょうと地域連携交付金（災害時要配慮者支援事業）			400千円										
目的	災害時の避難支援プランに基づき、避難行動要支援者登録台帳の継続的な管理を行うため、台帳の定期更新及び個別避難計画の充実を図るとともに、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域の協力体制づくりを推進する。		主な財源														
主要な事務・事業の概要	○福祉事業所との検討経費 188千円 ・個別避難計画作成協力謝金（36事業所・47人） 188千円 ○個別避難計画更新経費 218千円 ・消耗品費 20千円 ・通信運搬費 198千円 ○災害時要配慮者支援台帳システム 555千円 ・システム保守委託料 469千円 ・ライセンス使用料 86千円		※要支援者台帳登録者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>対前年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月31日現在</td> <td>1,471人</td> <td>76人減</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月31日現在</td> <td>1,332人</td> <td>139人減</td> </tr> </tbody> </table>							登録者数	対前年	令和4年3月31日現在	1,471人	76人減	令和5年3月31日現在	1,332人	139人減
		登録者数	対前年														
令和4年3月31日現在	1,471人	76人減															
令和5年3月31日現在	1,332人	139人減															
【避難行動要支援者登録台帳】 災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。 この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。		【台帳共有先】 ・自治会、民生児童委員、京丹後警察署、京丹后市社会福祉協議会、避難支援者 ・市関係部署 長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務課、各市民局、消防署															
成果・課題	○区長、民生児童委員の協力のもと、避難行動要支援者登録台帳を定期更新することにより、災害時における要支援者の避難誘導等の体制を整えるとともに、地域住民の意識向上を図ることができた。 ○避難行動要支援者に係る心身の状況、避難経路など個別避難計画の項目等の見直しを福祉事業所等と共に検討し、要支援者個々の支援内容の充実を図ることができた。																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,251千円	6,273千円	22千円	99.6 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)繰越予算額	課	生活福祉課
	事業	14 災害時要配慮者支援事業（繰越）				6,273千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	災害対策基本法の改正に伴い、災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成が努力義務となり、その内容も充実を求められることとなったことから、システム改修を実施する。							
主要な事務・事業の概要	○災害時要配慮者支援台帳システム改修委託料		3,810千円					
	○災害時要配慮者支援台帳ソフトウェア使用料		2,441千円					
			成果・課題	<p>○システム改修により、避難経路やハザード情報を視覚的に確認できる地図情報機能などを追加し、災害時避難行動要支援者の個別避難計画の充実を図ることができた。</p> <p>○各市民局や消防署等において、個別避難計画をシステムで閲覧できるようになり、災害時により迅速に対応できる環境を整えることができた。</p>				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 172千円	最終予算額 173千円	不用額 1千円	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費				99.4 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	17 地域福祉計画策定事業				451千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	第4次京丹後市地域福祉計画・第4次京丹後市地域福祉活動計画の冊子を作成、庁内外への配付を行い、関係機関への周知を図る。							
主要な事務・事業の概要	第4次京丹後市地域福祉計画・第4次京丹後市地域福祉活動計画 ※計画期間：令和4年度～令和8年度 ○印刷製本費 製本版：500部 概要版：1,000部 【主な配付先】 製本版：庁内、健康と福祉のまちづくり審議会委員、 民生児童委員協議会、京都府、府下14市 概要版：地区区長、各市庁舎配架		172千円					
	成果・課題	印刷製本した計画を庁内外に配付することで第4次京丹後市地域福祉計画・第4次京丹後市地域福祉活動計画の周知を図ることができた。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,389千円	2,535千円	146千円	(参考)当初予算額	2,535千円	94.2 %				
	目	01 社会福祉総務費										
	事業	19 権利擁護支援体制整備推進事業										
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源		国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	195千円	課	長寿福祉課			
目的	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が成年後見制度を円滑に利用できるよう体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。		府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	97千円	府補	地域医療介護総合確保事業費補助金(10/10)	1,811千円				
主要な事務・事業の概要	<p>地域における成年後見制度を始めとした権利擁護支援体制の整備の事務局・相談窓口として成年後見サポートセンターを設置し、日常的な相談対応のほか、専門職等との連携による権利擁護チームの支援、普及啓発活動、権利擁護支援を担う人材養成などの取組を行った。</p>		<p>○相談支援体制等に関する経費</p>		66千円	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー謝金(1回、3人) 12千円 ・備品購入費(プロジェクター1台) 54千円 						
	<p>○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催経費 181千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員等謝金(3回×委員7人、1回×オブザーバー7人) 134千円 ・委員等費用弁償 31千円 ・消耗品費(事務用品) 10千円 ・郵便代 6千円 <p>○普及啓発・担い手養成事業の実施 2,142千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発・担い手養成事業委託料 2,142千円 <p>(委託先：京丹後市社会福祉協議会)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出前講座の開催(9回、延べ参加者数126人) ② 権利擁護支援啓発講座の開催(1回、参加者数46人) ③ 啓発パンフレットの配布 ④ 権利擁護に関わる支援者養成講座の開催(5日間×1回、参加者数31人) 		<p>成果・課題</p>		<p>○権利擁護支援体制あり方検討委員会での検討・連携のもと、専門職と協働して市民に向けた啓発講座の開催・支援者養成講座(基礎編)の開催など、権利擁護支援の体制づくりに取り組めた。</p> <p>○成年後見制度が必要となる人が増える中、近隣市町とも連携しながら、制度の普及啓発とともに、地域での見守りや担い手の仕組みづくりを継続して進める必要がある。</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																															
	項	01 社会福祉費							1,374千円	1,994千円	620千円	68.9 %																											
	目	01 社会福祉総務費											(参考)当初予算額																										
	事業	20 介護人材育成支援事業												3,985千円																									
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		国補 繰入金	新型ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞ感染症対応地方創生臨時交付金		500千円	課	長寿福祉課																															
目的	介護サービス又は障害福祉サービスに従事する介護職員の確保及び資質の向上を図るため、介護職員の資格取得に要する研修の受講料等を負担した社会福祉法人等に対し、その費用の一部を支援する。			新型ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞ感染症支え合い基金繰入金		800千円																																	
主要な事務・事業の概要	介護職員の資格取得に要する研修の受講料等を負担した社会福祉法人等に対し、その費用の一部を補助した。		1,374千円	② 介護職員初任者研修（補助率：2/3）																																			
	○介護人材確保育成支援事業補助金			<table border="1"> <thead> <tr> <th>申請法人</th> <th>受講数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株) tango nonno nonna</td> <td>3人</td> <td>159千円</td> </tr> </tbody> </table>					申請法人	受講数	補助金額	(株) tango nonno nonna	3人	159千円																									
	申請法人	受講数		補助金額																																			
(株) tango nonno nonna	3人	159千円																																					
① 介護職員実務者研修（補助率：2/3）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>申請法人</th> <th>受講数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(福) 北丹後福祉会</td> <td>5人</td> <td>315千円</td> </tr> <tr> <td>(福) 不動園</td> <td>2人</td> <td>126千円</td> </tr> <tr> <td>(福) ふるさとの会</td> <td>1人</td> <td>66千円</td> </tr> <tr> <td>(福) 丹後大宮福祉会</td> <td>2人</td> <td>132千円</td> </tr> <tr> <td>(福) 太陽福祉会</td> <td>3人</td> <td>99千円</td> </tr> <tr> <td>(福) はしうど福祉会</td> <td>1人</td> <td>53千円</td> </tr> <tr> <td>(福) あみの福祉会</td> <td>1人</td> <td>80千円</td> </tr> <tr> <td>(福) あしぎぬ福祉会</td> <td>3人</td> <td>226千円</td> </tr> <tr> <td>(特非) いやしの郷ほっこり</td> <td>1人</td> <td>80千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>1,177千円</td> </tr> </tbody> </table>					申請法人	受講数	補助金額	(福) 北丹後福祉会	5人	315千円	(福) 不動園	2人	126千円	(福) ふるさとの会	1人	66千円	(福) 丹後大宮福祉会	2人	132千円	(福) 太陽福祉会	3人	99千円	(福) はしうど福祉会	1人	53千円	(福) あみの福祉会	1人	80千円	(福) あしぎぬ福祉会	3人	226千円	(特非) いやしの郷ほっこり	1人	80千円	合計	19人	1,177千円
申請法人	受講数	補助金額																																					
(福) 北丹後福祉会	5人	315千円																																					
(福) 不動園	2人	126千円																																					
(福) ふるさとの会	1人	66千円																																					
(福) 丹後大宮福祉会	2人	132千円																																					
(福) 太陽福祉会	3人	99千円																																					
(福) はしうど福祉会	1人	53千円																																					
(福) あみの福祉会	1人	80千円																																					
(福) あしぎぬ福祉会	3人	226千円																																					
(特非) いやしの郷ほっこり	1人	80千円																																					
合計	19人	1,177千円																																					
③ 主任介護支援専門員研修（補助率：10/10）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>申請法人</th> <th>受講数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株) tango nonno nonna</td> <td>1人</td> <td>38千円</td> </tr> </tbody> </table>					申請法人	受講数	補助金額	(株) tango nonno nonna	1人	38千円																											
申請法人	受講数	補助金額																																					
(株) tango nonno nonna	1人	38千円																																					
成果・課題	介護・障害福祉サービス分野への就労・定着を促進し、介護職員の確保及び資質の向上を図るため、本事業の周知・広報活動を強化する必要がある。																																						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																															
	項	01 社会福祉費							4,438千円	6,400千円	1,962千円	(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																									
	目	01 社会福祉総務費																																					
	事業	21 福祉施設等感染症対策支援事業																																					
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	3,500千円																																	
目的	新型コロナウイルス感染症の感染防止等を目的に、福祉施設が入所予定者に対して行うPCR検査の費用を支援する。 また、人員体制の確保や事業継続を図ることを目的に、介護従事者等が使用する抗原定性検査キットの購入費用の一部を支援する。			繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金	500千円																																	
主要な事務・事業の概要	○ 福祉施設等入所予定者PCR検査費用補助金 2,495千円 福祉施設等における新型コロナウイルス感染症の発生を未然に防ぎ、安心してサービスの利用できる環境を整えることを目的に、福祉施設の入所予定者に対して行ったPCR検査費用に対して補助金を交付した。 対象施設等：入所（入居）系の高齢者福祉施設、障害者福祉施設 補助率：10/10（補助上限額：2万円/人）				○ 福祉施設等抗原定性検査キット購入費用補助金 1,943千円 介護等従事者の人員体制の確保を支援するとともに施設利用者等の健康状態を確認し、安心して事業の機能維持を図ることを目的に、介護従事者等が使用するために購入した抗原定性検査キット費用の一部に対して補助金を交付した。 対象法人：市内で高齢者福祉施設、障害者福祉施設又は児童福祉施設を運営している社会福祉法人等 補助率：2/3（補助上限額：25万円/法人）																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス種別</th> <th>交付施設数</th> <th>人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>11施設</td> <td>98人</td> <td>1,230千円</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護</td> <td>7施設</td> <td>14人</td> <td>142千円</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム</td> <td>1施設</td> <td>6人</td> <td>72千円</td> </tr> <tr> <td>短期入所生活介護</td> <td>8施設</td> <td>74人</td> <td>826千円</td> </tr> <tr> <td>軽費老人ホーム</td> <td>3施設</td> <td>19人</td> <td>225千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30施設</td> <td>211人</td> <td>2,495千円</td> </tr> </tbody> </table>				サービス種別	交付施設数	人数	補助金額	特別養護老人ホーム	11施設	98人	1,230千円	認知症対応型共同生活介護	7施設	14人	142千円	養護老人ホーム	1施設	6人	72千円	短期入所生活介護	8施設	74人	826千円	軽費老人ホーム	3施設	19人	225千円	合計	30施設	211人	2,495千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>交付法人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12法人</td> <td>1,943千円</td> </tr> </tbody> </table>				交付法人数	補助金額	12法人
サービス種別	交付施設数	人数	補助金額																																				
特別養護老人ホーム	11施設	98人	1,230千円																																				
認知症対応型共同生活介護	7施設	14人	142千円																																				
養護老人ホーム	1施設	6人	72千円																																				
短期入所生活介護	8施設	74人	826千円																																				
軽費老人ホーム	3施設	19人	225千円																																				
合計	30施設	211人	2,495千円																																				
交付法人数	補助金額																																						
12法人	1,943千円																																						
				成果・課題	○福祉施設の入所予定者に対するPCR検査の実施を支援することで、利用者が安心して介護サービスを利用でき、また、介護職員が安心して働ける環境整備に寄与することができた。 ○抗原定性検査キットの確保を支援することで、施設で陽性者が出た場合における施設利用者や介護等従事者の健康状態を早期に確認し、事業の継続や人員体制の確保に向けた環境整備に寄与することができた。																																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部							
	項	01 社会福祉費							39千円	100千円	61千円	39.0 %			
	目	01 社会福祉総務費											(参考)当初予算額		
	事業	22 福祉施設従事者宿泊費用支援事業												1,500千円	
課	長寿福祉課														
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源												
目的	高齢者福祉施設等での感染の拡大防止及び介護従事者の同居する家族等への感染への危険性を回避するため、新型コロナウイルス感染者が発生した高齢者施設等に勤務している職員の宿泊費等の一部を支援する。														
主要な事務・事業の概要	○福祉施設等従事者宿泊費用補助金 39千円 対象施設等：入所（入居）系の高齢者福祉施設、障害者福祉施設 補助率：1/2 補助上限額：3,000円/泊（ホテル、ビジネスホテル、旅館等の宿泊施設） 1,200円/泊（マンスリーマンション等の賃貸物件） (参考)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>交付施設数</th> <th>利用人数</th> <th>宿泊数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1施設</td> <td>6人</td> <td>13泊</td> <td>39千円</td> </tr> </tbody> </table>		交付施設数	利用人数	宿泊数	補助金額	1施設	6人	13泊	39千円					
交付施設数	利用人数	宿泊数	補助金額												
1施設	6人	13泊	39千円												
			成果・課題	介護職員が安心して働ける環境確保と新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期におけるサービスの維持に資することができた。											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	87,115千円	87,279千円	164千円	99.8 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業				0千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進					国補		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金（10/10）
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民税非課税世帯等の生活・暮らしの支援として臨時特別給付金を支給する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○職員手当（時間外勤務手当）		327千円					
	○消耗品費		13千円					
	○役務費（通信運搬費、払込料金取扱手数料）		371千円					
	○負担金、補助及び交付金		86,404千円					
	・ 京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		504千円					
	・ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金		85,900千円					
	【概要】							
	●給付額 : 1世帯につき10万円							
	●支給対象 : 令和4年度住民税が非課税の世帯のうち、令和3年度給付金または令和4年度（繰越）給付金を受給していない世帯 （基準日：令和4年6月1日）							
	●給付件数							
		プッシュ方式	転入者・措置入所等	家計急変世帯	支給件数			
	R4年度（現年）	859件	-	-	859件			
参考	R3年度（現年）※	5,544件	27件	43件	5,614件			
	R4年度（繰越）※	67件	7件	22件	96件			
※令和3年度住民税が非課税の世帯が支給対象								
成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができました。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部						
	項	01 社会福祉費							9,639千円	35,447千円	25,808千円	(参考)繰越予算額	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費												
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業（繰越）												
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金（10/10） 9,639千円											
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民税非課税世帯等の生活・暮らしの支援として臨時特別給付金を支給する。		主な財源											
主要な事務・事業の概要	○需用費（印刷製本費）		11千円											
	○役務費（通信運搬費）		28千円											
	○負担金、補助及び交付金		9,600千円											
	・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金													
【概要】														
●給付額：1世帯につき10万円														
●支給対象：令和3年度住民税が非課税の世帯のうち、令和3年度給付金を受給していない世帯（基準日：令和3年12月1日）														
●給付件数														
		プッシュ方式	転入者・措置入所等	家計急変世帯	支給件数									
R4年度（繰越）		67件	7件	22件	96件									
参考	R3年度 ※	5,544件	27件	43件	5,614件									
※令和3年度住民税が非課税の世帯が支給対象														
成果・課題		新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部						
	項	01 社会福祉費	300,325千円	300,453千円	128千円	99.9 %								
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課						
	事業	24 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業				0千円								
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補	電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業補助金		300,316千円								
目的	電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者世帯（住民税非課税世帯）に対して、緊急支援給付金を支給する。		主な財源											
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人） 273千円 ○職員手当等（時間外勤務手当） 325千円 ○需用費（消耗品費、印刷製本費） 352千円 ○役務費（通信運搬費、払込料金取扱手数料） 2,630千円 ○負担金、補助及び交付金 296,745千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 295千円 ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 296,450千円 													
	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給付額：1世帯につき5万円 ●支給対象：令和4年度住民税が非課税の世帯（基準日：令和4年9月30日） ●支給件数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>プッシュ方式</th> <th>転入者・措置入所等</th> <th>家計急変世帯</th> <th>支給件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,880件</td> <td>15件</td> <td>34件</td> <td>5,929件</td> </tr> </tbody> </table>		プッシュ方式	転入者・措置入所等	家計急変世帯	支給件数	5,880件	15件	34件	5,929件	成果・課題	電気・ガスなど諸物価の高騰が家計を圧迫する中で、様々な困難に直面した方に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。		
プッシュ方式	転入者・措置入所等	家計急変世帯	支給件数											
5,880件	15件	34件	5,929件											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	10,315千円	10,700千円	385千円	(参考)当初予算額	96.4 %							
	目	01 社会福祉総務費					12,562千円	課	生活福祉課					
	事業	50 社会福祉総務一般経費												
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国委 厚生労働統計調査事務委託金								13千円		
				諸収入 社会福祉士実習委託費									29千円	
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加を促進するため、社会福祉団体に補助金を交付し、福祉の向上を図る。													
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等） 2,494千円 ○福祉事務所公用車管理経費 3,132千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料（公用車車検、定期点検、修理費等） 1,081千円 ・燃料費 1,302千円 ・役務費（自動車登録、自賠責保険料等） 683千円 ・公課費（自動車重量税） 66千円 ○職員旅費、各種講習会受講負担金 121千円 ○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料 36千円 ○安全運転管理者関係経費 11千円 <ul style="list-style-type: none"> ・運転経歴証明書交付手数料 2千円 ・講習会負担金 9千円 ○ごみ持込処理手数料 89千円 ○会計年度任用職員任用経費（産休育休代替）（1人） 2,934千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 2,057千円 ・期末手当 316千円 ・共済費 381千円 ・費用弁償 180千円 			<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉団体事業補助金 585千円 <ul style="list-style-type: none"> ・母子寡婦福祉会活動補助金 467千円 ・障害者団体活動補助金 118千円 ○寄り添い支援総合サポートセンター屋根修繕 913千円 										
					成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉事務所の運営を円滑に実施することができた。 ○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。 								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部					
	項	01 社会福祉費						14,632千円	14,756千円	124千円	99.1 %	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費									(参考)当初予算額		
	事業	01 自立相談支援事業									15,468千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	使用料	公有財産使用料	28千円							
目的	くらしやしごとに関して幅広い相談を来所・訪問・Webなどの方法で受け付けられる相談体制を整え、多様で複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、自立相談支援員による伴走型の支援等によって自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。			国負	生活困窮者自立支援負担金(3/4)	10,207千円							
			国補	生活困窮者自立支援補助金(2/3)	1,979千円								
				諸収入	寄り添い支援総合棟 トイレ-光熱水費負担金	216千円							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費(自立相談支援員4人)		12,081千円	《支援実績》									
	・報酬		8,634千円	年度	新規相談者数 (うち市民相談)	前年度から 引き継ぎ数	プラン 作成数	就労者数					
	・期末手当		1,550千円	R元	168人 (105人)	73人	77件	17人					
	・社会保険料、雇用保険料		1,660千円	R2	305人 (160人)	54人	164件	21人					
	・費用弁償(通勤費)		237千円	R3	264人 (118人)	174人	302件	20人					
	○その他相談支援等経費		2,139千円	R4	205人 (97人)	217人	142件	18人					
	・相談支援等公用車経費(リース、保険料、燃料費)		644千円	成果・課題	○フリーダイヤルやLINE、来所による相談に加え、庁内や関係機関及び地域事業所からの紹介や総合相談会(4回、108人)の開催など、相談しやすい環境整備につとめた。								
	・施設維持管理費			○コロナ禍の影響による収入減少者に対して、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付と連携することで生活の維持を支援することができた。(対象数29件)									
	・需用費(光熱水費、ガス代)		586千円	○伴走型支援によって、各種制度へのつなぎに加え、就労(18人)、勤務時間の増加や副業等による増収(14人)につなげることができた。									
	・通信運搬費(電話代、光回線使用料等)		486千円										
・消耗品費(事務用品、コピーチャージ料)		267千円											
・コピー機借上料		8千円											
・ソフトウェア等使用料		70千円											
・研修費(旅費、有料道路通行料)		78千円											
○過年度国庫支出金返還金(生活困窮者自立支援負担金)		412千円											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																				
	項	01 社会福祉費							2,379千円	2,519千円	140千円	(参考)当初予算額	課	生活福祉課																														
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費																																										
	事業	02 離職者等支援事業																																										
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金(3/4)	1,541千円																																						
目的	離職等で経済的に困窮し、住宅喪失又は喪失のおそれのある方に住居費を支給する。また、住居を喪失している方には、緊急一時的に宿泊場所を提供し、再就労に向けた支援を行う。			国補	生活困窮者自立支援補助金(2/3)	216千円																																						
主要な事務・事業の概要	○緊急一時生活支援事業		324千円		○離職者住宅支援給付事業補助金(家賃給付)		2,055千円																																					
	<<支援実績>> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> <th>利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1人</td> <td>54日</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3人</td> <td>46日</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10人</td> <td>135日</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4人</td> <td>44日</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用人数	利用日数	平成30年度	0人	—	令和元年度	1人	54日	令和2年度	3人	46日	令和3年度	10人	135日	令和4年度	4人	44日			<<支援実績>> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> <th>利用月数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1人</td> <td>1か月</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>15人</td> <td>42か月</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>18人</td> <td>91か月</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>15人</td> <td>56か月</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用人数	利用月数	平成30年度	0人	—	令和元年度	1人	1か月	令和2年度	15人	42か月	令和3年度	18人	91か月	令和4年度	15人	56か月		
	年度	利用人数	利用日数																																									
平成30年度	0人	—																																										
令和元年度	1人	54日																																										
令和2年度	3人	46日																																										
令和3年度	10人	135日																																										
令和4年度	4人	44日																																										
年度	利用人数	利用月数																																										
平成30年度	0人	—																																										
令和元年度	1人	1か月																																										
令和2年度	15人	42か月																																										
令和3年度	18人	91か月																																										
令和4年度	15人	56か月																																										
				成果・課題	○新型コロナウイルス感染症を含めた社会情勢の変動の影響により、離職等で住居を失った状態で相談に来られる方に対して、緊急一時的な生活拠点を提供することで、他制度等へのつなぎとして生活困窮者の自立を支援することができた。 ○住宅支援給付補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて住居を失うおそれのあった方に家賃相当額を給付することでコロナ禍によるニーズに対応することができた。																																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							18,896千円	19,064千円	168千円	99.1 %
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費										(参考)当初予算額
	事業	03 就労準備支援事業										17,923千円
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補	生活困窮者自立支援補助金(2/3)	11,624千円							
目的	直ちに一般就労することが困難な方に対して、生活基礎能力の習得や就職活動に向けた技術、知識の取得、個々の適性を見極め等を計画的かつ一貫して支援する。											
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員1人） 3,217千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬（就労準備支援） 2,245千円 ・期末手当 447千円 ・社会保険料、雇用保険料 446千円 ・費用弁償（通勤費） 79千円 ○就労準備支援事業委託料 13,500千円 <ul style="list-style-type: none"> 委託先：企業組合労協センター事業団 <ul style="list-style-type: none"> ・通所型訓練による就労体験事業 13,500千円 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：7人（生活困窮7人、生活保護0人） 延べ利用者数：328人（月平均27人） ・通所型訓練による居場所事業 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：7人（生活困窮7人、生活保護0人） 延べ利用者数：563人（月平均47人） 居場所セミナー開催実績8回（延べ33人参加） 		<ul style="list-style-type: none"> ○その他事業運営経費 731千円 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援等公用車経費（保険料、修繕費、燃料費） 63千円 ・施設維持管理費（需用費、保険料、委託料等） 573千円 ・消耗品費 69千円 ・使用料（ソフトウェア使用料1台） 26千円 ○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援補助金） 1,448千円 									
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○通所型居場所・訓練事業について、感染症対策を講じたうえで開設し、利用者のニーズに應えることができた。 ○居場所利用から訓練利用へのステップアップが困難な方への対応として自前のセミナーを開催し、ステップアップにつなぐことができた。 ○4人が訓練を終了し、うち2人は就労に、2人については他事業（地域活動支援センター等）への移行につなげることができた。 										

予算科目	款	03 民生費	710千円	849千円	139千円	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費				83.6 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	04 子どもの学習支援事業				2,924千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補	生活困窮者自立支援補助金(1/2)	354千円			
目的	生活保護受給世帯の子どもを中心に貧困の連鎖を防止するため、学習支援員が対象世帯を訪問し、子どもの学習支援と併せて家庭での学習環境などを整える。					主な財源		
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費(学習支援員2人)		710千円					
	・報酬		669千円					
	・費用弁償(通勤費)		33千円					
	・ソフトウェア使用料(支援用パソコン)		8千円					
	《支援実績》							
	年度	対象世帯数	対象小学生	対象中学生	延べ訪問回数			
	平成30年度	6世帯	5人	6人	172回			
	令和元年度	5世帯	5人	4人	169回			
	令和2年度	1世帯	0人	1人	12回			
	令和3年度	3世帯	1人	2人	41回			
	令和4年度	4世帯	5人	2人	61回			
	成果・課題	○年度末から学習支援員1人を増員し、新たな対象世帯の支援を行った。 ○中学3年生への学習支援及び親への相談支援により、高等学校進学に向けた学習及び学習環境を整え、合格させることができた。 ○要保護児童対策地域協議会のケース会議にも出席し、学校を含めた関係機関と連携することができた。 ○学習支援と併せて養育支援を進めるための体制を強化する必要がある。 ○高等学校と連携して、就学から就労への支援の繋ぎを図る必要がある。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 6,500千円	最終予算額 6,500千円	不用額 0千円	執行率	部 健康長寿福祉部															
	項	01 社会福祉費				100.0%																
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費				(参考)当初予算額																
	事業	05 家計改善支援事業				6,500千円																
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源 国補	生活困窮者自立支援補助金(2/3)		4,301千円	課 生活福祉課															
目的	自立相談支援事業利用者の自立を促進するため、家計の改善に向けた家計状況の把握・債務整理・将来に向けたキャッシュフロー作成などを支援し、家計状況の見える化を進め、利用者自身の家計管理能力の向上を図る。																					
主要な事務・事業の概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 6,500千円 生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業を実施している京丹後市社会福祉協議会に委託を行うことで、生活困窮者に対して複数の事業と連携した対応を行うことにより、再度、困窮状態へ陥らないように、貸付後の返済を含めた家計の改善に向けた早期の支援を行った。																					
	【実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>被保護者</th> <th>他(自立相談)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2人</td> <td>11人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3人</td> <td>34人</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2年度から自立相談支援員による生活困窮者相談支援事業を実施。 令和3年度から京丹後市社会福祉協議会へ委託。 34人中20人は緊急小口資金等特例貸付の償還免除に関する相談			被保護者	他(自立相談)	合計	R2	1人	4人	5人	R3	2人	11人	13人	R4	3人	34人	37人	成果・課題 ○社会福祉協議会へ委託することで、他事業との連携による定期的な訪問や継続的な支援を行うことができたほか、事業利用者の掘り起こしができた。 ○事業を利用することで、家計の整理が進み、家計の維持向上が進んだ。 ○精神疾患や知的障害を抱える、又はうかがわれる利用者(8人)が多く、どこまで家計管理能力を利用者に求めるか慎重に実施する必要がある。			
	被保護者	他(自立相談)	合計																			
R2	1人	4人	5人																			
R3	2人	11人	13人																			
R4	3人	34人	37人																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																				
	項	01 社会福祉費							4,106千円	4,106千円	0千円	100.0%																																
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費											(参考)当初予算額																															
	事業	06 自立相談支援機能強化事業												4,106千円																														
課	生活福祉課																																											
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進	国補	生活困窮者自立支援補助金(10/10)	3,888千円																																								
目的	社会福祉協議会が実施している事業やネットワークを活用し、潜在的な相談の掘り起こしや初期の繋がりを確保することにより、生活困窮者の自立を促す。																																											
主要な事務・事業の概要	○自立相談支援機能強化事業委託料				4,106千円		<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関や他制度への連携 																																					
	【事業概要】				自立相談支援機関である社会福祉協議会のネットワークを生かし、アウトリーチ型支援を充実するなど、より相談しやすい環境をつくとともに、必要な制度やサービスを紹介するなど、生活困窮者の自立を促す。		<table border="1"> <tr> <td>寄り添い支援センター</td> <td>20件</td> <td>区事務所</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>市生活福祉課</td> <td>7件</td> <td>民生児童委員</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>市地域包括支援センター</td> <td>10件</td> <td>福祉サービス利用援助</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>市こども未来課</td> <td>2件</td> <td>フードパントリー事業</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>市障害者福祉課</td> <td>1件</td> <td>生活福祉資金特例貸付</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>丹後保健所</td> <td>1件</td> <td>生活福祉資金償還支援</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>障害福祉関係事業所</td> <td>2件</td> <td>生活福祉資金関係</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>介護支援関係事業所</td> <td>4件</td> <td>その他資金</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>ボランティアグループ</td> <td>1件</td> <td>合計</td> <td>137件</td> </tr> </table>				寄り添い支援センター	20件	区事務所	1件	市生活福祉課	7件	民生児童委員	2件	市地域包括支援センター	10件	福祉サービス利用援助	5件	市こども未来課	2件	フードパントリー事業	2件	市障害者福祉課	1件	生活福祉資金特例貸付	46件	丹後保健所	1件	生活福祉資金償還支援	23件	障害福祉関係事業所	2件	生活福祉資金関係	7件	介護支援関係事業所	4件	その他資金	3件	ボランティアグループ	1件
	寄り添い支援センター	20件	区事務所	1件																																								
	市生活福祉課	7件	民生児童委員	2件																																								
市地域包括支援センター	10件	福祉サービス利用援助	5件																																									
市こども未来課	2件	フードパントリー事業	2件																																									
市障害者福祉課	1件	生活福祉資金特例貸付	46件																																									
丹後保健所	1件	生活福祉資金償還支援	23件																																									
障害福祉関係事業所	2件	生活福祉資金関係	7件																																									
介護支援関係事業所	4件	その他資金	3件																																									
ボランティアグループ	1件	合計	137件																																									
【実績】		・相談受付件数 259件(京丹後市社会福祉協議会へ委託)		<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会の相談体制強化により新規相談受付件数が大幅に増加し、支援の窓口が拡大できた。 ○生活困窮世帯への食品提供を行い、一時的ではあるが家計支援の効果により生活の立て直しの一助となった。 ○相談者に応じて、寄り添い支援総合サポートセンターだけでなく、他の関係機関とも連携し、問題解決につなげることができた。 																																								
<table border="1"> <tr> <td>峰山支所</td> <td>大宮支所</td> <td>網野支所</td> <td>丹後支所</td> <td>弥栄支所</td> <td>久美浜支所</td> </tr> <tr> <td>115件</td> <td>10件</td> <td>28件</td> <td>1件</td> <td>77件</td> <td>28件</td> </tr> </table>		峰山支所	大宮支所					網野支所	丹後支所	弥栄支所	久美浜支所	115件	10件	28件	1件	77件	28件																											
峰山支所	大宮支所	網野支所	丹後支所					弥栄支所	久美浜支所																																			
115件	10件	28件	1件					77件	28件																																			
・相談状況																																												
<table border="1"> <tr> <td>主な相談内容</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>収入・生活費について</td> <td>86件</td> </tr> <tr> <td>債務について</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>病気・健康・障害について</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>仕事探し・就職について</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>169件</td> </tr> </table>		主な相談内容	件数	収入・生活費について	86件	債務について	38件	病気・健康・障害について	28件	仕事探し・就職について	17件	合計	169件																															
主な相談内容	件数																																											
収入・生活費について	86件																																											
債務について	38件																																											
病気・健康・障害について	28件																																											
仕事探し・就職について	17件																																											
合計	169件																																											
成果・課題																																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																	
	項	01 社会福祉費	7,428千円	7,618千円	190千円	97.5%																			
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課																	
	事業	07 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業				1,600千円																			
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金			7,071千円																		
目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、社会福祉協議会が実施する総合支援資金の貸付が終了するなどにより、さらなる貸付を利用できない生活困窮世帯を対象に、新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金を支給するもの。		主な財源																						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 159千円 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 159千円 ○需用費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 3千円 ○役務費 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 10千円 ○負担金、補助及び交付金 6,900千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 6,900千円 ○過年度国庫支出金返還金 356千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金 <p>【支給対象】</p> <p>特例総合支援資金の貸付を受けた者で、次のいずれかに該当する世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付を借り終えた者又は借り終わる世帯 ・貸付を申請したが、不承認となった世帯 ・貸付の相談等をしたが、自立支援金申請日までに貸付の申請ができなかった世帯 			<p>【支給月額】</p> <p>単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円</p> <p>【支給期間】</p> <p>3か月（1度に限り再申請可能…合計6か月）</p> <p>【利用実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単身世帯</th> <th>2人世帯</th> <th>3人以上世帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3年度</td> <td>1,620千円</td> <td>240千円</td> <td>2,400千円</td> </tr> <tr> <td>10 世帯</td> <td>3 世帯</td> <td>7 世帯</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4年度</td> <td>3,120千円</td> <td>1,280千円</td> <td>2,500千円</td> </tr> <tr> <td>12 世帯</td> <td>5 世帯</td> <td>5 世帯</td> </tr> </tbody> </table>						単身世帯	2人世帯	3人以上世帯	R3年度	1,620千円	240千円	2,400千円	10 世帯	3 世帯	7 世帯	R4年度	3,120千円	1,280千円	2,500千円	12 世帯	5 世帯
	単身世帯	2人世帯	3人以上世帯																						
R3年度	1,620千円	240千円	2,400千円																						
	10 世帯	3 世帯	7 世帯																						
R4年度	3,120千円	1,280千円	2,500千円																						
	12 世帯	5 世帯	5 世帯																						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○京丹後市社会福祉協議会と連携し、生活福祉資金の特例貸付終了者に対して、個別に自立支援金の案内・勧奨ができた。 ○生活福祉資金の特例貸付に自立相談支援機関として寄り添い支援総合サポートセンターが関与したため、円滑に給付と支援を実施できた。 ○生活福祉資金の特例貸付と自立支援金の収入・資産要件の違いや、求職活動要件等の要件の違いがあることから、自立支援金の利用に結びつかない人も多かった。 																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 6,327千円	最終予算額 6,328千円	不用額 1千円	執行率	部 健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費				99.9 %									
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費				(参考)当初予算額									
	事業	08 共助の基盤づくり事業				6,328千円									
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補	生活困窮者自立支援補助金(1/2)	2,983千円										
目的	地域での暮らしの困りごとなど課題を抱えるものの早期発見や課題を複合化・複雑化させない予防的対応など、地域資源を活用した連携の仕組みづくりを推進し、地域住民による共助の取組の活性化を図る。					主な財源									
主要な事務・事業の概要	○共助の基盤づくり整備事業委託料(京丹後市社会福祉協議会) 6,327千円														
	<ul style="list-style-type: none"> 事業概要 本事業の拠点となる地域共生ステーションを2か所(弥栄・久美浜)の市民局内に設置し、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)として社協職員を各1人配置した。 地域での聞き取りを行ったり区などの会議に参加し、地域の状況把握や課題の掘り起こしを行い、地域アセスメントを実施した。 実績 地域へのアプローチや会議等の取組回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弥栄町</td> <td>31回</td> <td>弥栄町内15地区</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>18回</td> <td>久美浜町内71地区</td> </tr> </tbody> </table> <p>区長・福祉委員・民生委員などへの聞き取りをし、地域の現状と課題の抽出を行い、アセスメントシートを作成。</p>				回数	対象	弥栄町	31回	弥栄町内15地区	久美浜町	18回	久美浜町内71地区	成果・課題 ○地域アセスメントでは地域の現状について多くの情報を収集することができ、今後の課題分析に有効な記録を作成することができた。 ○委託先である社会福祉協議会と地域住民がともに取り組んだことにより、福祉の視点から地域住民による地域活動の活性化を図ることができた。		
	回数	対象													
弥栄町	31回	弥栄町内15地区													
久美浜町	18回	久美浜町内71地区													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 3,411千円	最終予算額 3,411千円	不用額 0千円	執行率	部 健康長寿福祉部																																								
	項	01 社会福祉費				100.0 %																																									
	目	03 障害者福祉費				(参考)当初予算額																																									
	事業	01 通所費助成事業				3,378千円		課 障害者福祉課																																							
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																																												
目的	障害者の生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成することで、利用者の経済的負担を軽減し、地域や社会への参加と自立を図る。																																														
主要な事務・事業の概要	生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成した。																																														
	○共同作業所等通所費助成金		3,411千円																																												
	助成対象：施設通所のために利用する公共交通機関の運賃 助成対象延べ人数：754人																																														
【参考】通所施設																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人名</th> <th>施設名</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">社会福祉法人 よさのうみ福祉会</td> <td>峰山共同作業所</td> <td>285人</td> </tr> <tr> <td>みねやま作業所</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>ゆうゆう作業所</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>すまいる</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>リフレかやの里</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ワークセンター花音</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>障害児(者)多機能型生活支援センターろむ</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>			法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	285人	みねやま作業所	58人	ゆうゆう作業所	94人	すまいる	11人	リフレかやの里	12人	ワークセンター花音	12人	障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	7人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人名</th> <th>施設名</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">社会福祉法人 久美の浜福祉会</td> <td>つばさ</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>あおぞら</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">社会福祉法人 あみの福祉会</td> <td>だるまハウス</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>四つ葉ハウス</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人 みらい</td> <td>みらい</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人 つなぐ</td> <td>つなぐ</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>株式会社 NINE</td> <td>ナイン舞鶴</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>					法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	72人	あおぞら	12人	社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	34人	四つ葉ハウス	53人	特定非営利活動法人 みらい	みらい	32人	特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	60人	株式会社 NINE	ナイン舞鶴	12人
法人名	施設名	延べ人数																																													
社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	285人																																													
	みねやま作業所	58人																																													
	ゆうゆう作業所	94人																																													
	すまいる	11人																																													
	リフレかやの里	12人																																													
	ワークセンター花音	12人																																													
	障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	7人																																													
法人名	施設名	延べ人数																																													
社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	72人																																													
	あおぞら	12人																																													
社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	34人																																													
	四つ葉ハウス	53人																																													
特定非営利活動法人 みらい	みらい	32人																																													
特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	60人																																													
株式会社 NINE	ナイン舞鶴	12人																																													
			成果・課題	障害者とその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加、自立の促進を支援することができた。																																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							27,494千円	27,495千円	1千円	99.9 %
	目	03 障害者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	02 障害者等手当支給事業										30,152千円
課	障害者福祉課	国負 特別障害者手当等給付費負担金 (3/4)		20,421千円								
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進											
目的	常時介護が必要な在宅障害児者への手当支給により経済的支援を行い、障害者福祉の向上を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<p>在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。</p> <p>○障害児福祉手当 5,675千円 手当月額：14,880円（令和4年2月～3月） 14,850円（令和4年4月～令和5年1月） 支給人数：延べ382人（月平均32人）</p> <p>○特別障害者手当 21,819千円 手当月額：27,350円（令和4年2月～3月） 27,300円（令和4年4月～令和5年1月） 支給人数：延べ799人（月平均67人）</p> <p>○支給対象月：令和4年2月～令和5年1月（年4回支給） ただし、資格喪失児者に対しては随時支給。</p>											
	成果・課題	<p>手当の支給により、在宅重度障害児者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p>										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 1,448千円	最終予算額 1,505千円	不用額 57千円	執行率	部 健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費				96.2 %																									
	目	03 障害者福祉費				(参考)当初予算額																									
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業				1,505千円																									
課							障害者福祉課																								
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																												
目的	慢性透析療法のために通院治療を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する場合、その交通費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	<p>じん臓機能障害者に対して、通院に必要な交通費の一部を助成した。</p> <p>○じん臓機能障害者通院交通費助成金 1,448千円</p> <p>公共交通機関での通院費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費（25円/km）のいずれかのうち、月10千円を上限として1/2を助成した。</p> <p style="text-align: right;">（単位：人、千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>60</td> <td>75</td> <td>261</td> <td>167</td> <td>37</td> <td>848</td> <td>1,448</td> </tr> </tbody> </table>								峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	実人数	1	2	8	5	1	17	34	助成額	60	75	261	167	37	848	1,448
		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																							
	実人数	1	2	8	5	1	17	34																							
助成額	60	75	261	167	37	848	1,448																								
成果・課題	<p>じん臓機能障害により慢性透析療法を必要とする方が安心して通院治療に専念できるよう、通院交通費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。</p>																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費						1,745,350千円	1,745,738千円	388千円	99.9 %	課	障害者福祉課			
	目	03 障害者福祉費											1,752,417千円			
	事業	04 障害福祉サービス事業														
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/2）	839,861千円										
目的	障害のある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。			国負	障害児通所給付費負担金（1/2）	38,809千円										
				府負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/4）	415,149千円										
				府負	障害児通所給付費負担金（1/4）	18,844千円										
			府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）	1,683千円											
府補	医療的ケア児者等福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）	20千円														
主要な事務・事業の概要	○扶助費		1,739,578千円		・サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等		3,772千円									
	・各種サービスを利用するための介護給付費等		1,735,806千円		＜高額及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係＞ 延べ利用者数											
	介護給付費等関係 延べ利用者数及び給付実績				<table border="1"> <tr> <td>高額障害福祉サービス等</td> <td>58人</td> <td>補装具</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>知的障害者施設入所者医療</td> <td>16人</td> <td>自立支援医療（更生医療）</td> <td>273人</td> </tr> </table>				高額障害福祉サービス等	58人	補装具	13人	知的障害者施設入所者医療	16人	自立支援医療（更生医療）	273人
	高額障害福祉サービス等	58人	補装具	13人												
	知的障害者施設入所者医療	16人	自立支援医療（更生医療）	273人												
	訪問系（居宅介護等）	1,478人	89,196千円	○手数料（障害福祉サービスに係る審査支払手数料）					2,550千円							
	日中活動系（生活介護）	2,891人	709,621千円	○負担金及び補助金					3,222千円							
	日中活動系（訓練等）	2,755人	378,916千円	サービス利用者に対し各補助要綱に基づく支援を実施した事業所に対する補助金												
	短期入所	372人	44,260千円	・障害者福祉サービス等利用支援負担金					231千円							
	施設入所支援	1,170人	171,559千円	・医療型短期入所受入体制強化事業補助金					40千円							
	共同生活援助	975人	161,727千円	・最重度強度行動障害者特別支援補助金					2,951千円							
	療養介護（医療費除く）	158人	44,108千円	成果・課題												
	計画相談	2,555人	40,985千円													
	児童発達支援	926人	28,345千円													
	放課後等デイサービス	835人	33,476千円													
保育所等訪問支援	131人	2,733千円														
訪問型児童発達支援	25人	1,043千円														
障害児相談支援	608人	9,745千円														
特定障害者特別給付費	2,145人	19,228千円														
特例介護給付費等	12人	864千円														
									○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づくサービス支給決定・給付を適切に実施することができた。							
				○利用者の経済状況に応じた負担軽減を図ることができた。												
				○ニーズに応じた給付ができるよう事業所と一層の連携を図っていく必要がある。												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	27,264千円	27,284千円	20千円	(参考)当初予算額	99.9 %					
	目	03 障害者福祉費										
	事業	05 自立支援医療事業										
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）		14,011千円					
		府負		障害者自立支援医療費負担金（1/4）		6,723千円						
目的	障害の除去又は程度の軽減を目的に、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析等の医療を受けた場合、必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。		府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）		171千円						
主要な事務・事業の概要	<p>身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費、身体に障害がある又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等により治療効果が期待できるものについて育成医療費、療養介護サービス利用者に対して療養介護医療費をそれぞれ給付した。</p> <p>また、更生医療の対象とならない在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。</p>			○審査支払事務手数料		29千円						
	<p>○自立支援医療（更生医療）給付費 16,019千円 対象障害： 肢体不自由、心臓機能障害、じん臓機能障害、免疫機能障害 認定人数： 97人</p> <p>○自立支援医療（育成医療）給付費 160千円 対象障害： 内臓障害、音声・言語・そしゃく機能障害 認定人数： 2人</p> <p>○自立支援医療特別対策事業給付費 343千円 対象障害： 呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害 認定人数： 4人</p> <p>○自立支援医療（療養介護医療）給付費 10,713千円 給付対象： 療養介護サービス受給者の療養医療費 認定人数： 13人</p>			支払先： 国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金								
				【医療の主な内容】								
				<ul style="list-style-type: none"> ●更生医療：人工関節置換術、ペースメーカー移植術、人工透析等 ●育成医療：瘤切開術、口蓋裂閉鎖・骨移植等 ●特別対策：在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患 ●療養介護医療：障害支援区分が区分5以上の重症心身障害者等の医療費 								
				成果・課題	医療費の負担を軽減することにより、障害児者が安心して治療に専念し、日常生活能力の回復、改善を図ることができた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							18,996千円	18,996千円	0千円	100.0 %
	目	03 障害者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	06 補装具事業										12,272千円
課	障害者福祉課											
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金 (1/2)		9,136千円					
		府負		障害児者補装具給付費負担金 (1/4)		4,749千円						
目的	身体障害児者等の身体機能を補完又は代替する補装具の購入及び修理に係る費用を支給することで、障害児者の安定した日常生活及び社会生活の維持及び向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	補装具の購入及び修理に係る費用を支給した。											
	<p>○身体障害児補装具給付費 7,617千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入件数： 29件 7,507千円 ・修理件数： 3件 110千円 <p>○身体障害者補装具給付費 11,379千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入件数： 69件 9,546千円 ・修理件数： 38件 1,833千円 <p>【主な給付内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害児：下肢装具、座位保持装置、車椅子、座位保持椅子等 ●障害者：補聴器、車椅子、視覚障害者安全つえ、歩行器等 											
			成果・課題	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さの緩和や身体的条件を改善することができた。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																				
	項	01 社会福祉費							141,035千円	144,480千円	3,445千円	97.6 %																																
	目	03 障害者福祉費										(参考)当初予算額																																
	事業	07 地域生活支援事業										156,072千円																																
課	障害者福祉課																																											
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	31,129千円																																						
目的	障害のある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制づくり、障害者福祉の向上を図る。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	15,546千円																																						
				府補	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費補助金(1/2)	23千円																																						
				府補	きょうと地域連携交付金(福祉タクシー利用料等助成事業)	1,000千円																																						
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	15,000千円																																						
			諸収入	成年後見人等開始審判請求費用	5千円																																							
主要な事務・事業の概要	障害のある方に対して相談や日中活動の支援、用具等の支給など各種事業を実施した。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名等</th> <th>決算額</th> <th>延べ件数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移動支援事業(9事業所に委託) ※屋外での移動が困難な方への外出支援</td> <td>7,624千円</td> <td>利用時間: 2,768時間</td> </tr> <tr> <td>障害児通学支援事業(聾学校への通学支援)</td> <td>2,922千円</td> <td>利用回数: 322回</td> </tr> <tr> <td>障害者相談支援事業(2事業所)</td> <td>17,200千円</td> <td>相談件数: 1,230件</td> </tr> <tr> <td>身体障害者訪問入浴事業(1事業所)</td> <td>688千円</td> <td>利用回数: 44回</td> </tr> <tr> <td>地域活動支援センター事業(3事業所)</td> <td>46,253千円</td> <td>利用者数: 1,173人</td> </tr> <tr> <td>障害者・児童日中一時支援事業(12事業所)</td> <td>42,808千円</td> <td>利用回数: 8,671回</td> </tr> <tr> <td>京都歯科サービスセンター北部診療所 運営事業</td> <td>153千円</td> <td>患者数: 22人</td> </tr> <tr> <td>身体障害者自動車改造助成事業</td> <td>200千円</td> <td>交付者数: 2人</td> </tr> <tr> <td>福祉タクシー利用券・福祉ガソリン利用券 交付事業(印刷製本費含む)</td> <td>4,944千円</td> <td>交付者数: 1,153人</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度利用支援事業 ※後見人への報酬助成、登記手数料等</td> <td>780千円</td> <td>利用者数: 3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>141,035千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業名等	決算額	延べ件数等	移動支援事業(9事業所に委託) ※屋外での移動が困難な方への外出支援	7,624千円	利用時間: 2,768時間	障害児通学支援事業(聾学校への通学支援)	2,922千円	利用回数: 322回	障害者相談支援事業(2事業所)	17,200千円	相談件数: 1,230件	身体障害者訪問入浴事業(1事業所)	688千円	利用回数: 44回	地域活動支援センター事業(3事業所)	46,253千円	利用者数: 1,173人	障害者・児童日中一時支援事業(12事業所)	42,808千円	利用回数: 8,671回	京都歯科サービスセンター北部診療所 運営事業	153千円	患者数: 22人	身体障害者自動車改造助成事業	200千円	交付者数: 2人	福祉タクシー利用券・福祉ガソリン利用券 交付事業(印刷製本費含む)	4,944千円	交付者数: 1,153人	成年後見制度利用支援事業 ※後見人への報酬助成、登記手数料等	780千円	利用者数: 3人	合計	141,035千円	
	事業名等	決算額	延べ件数等																																									
	移動支援事業(9事業所に委託) ※屋外での移動が困難な方への外出支援	7,624千円	利用時間: 2,768時間																																									
	障害児通学支援事業(聾学校への通学支援)	2,922千円	利用回数: 322回																																									
	障害者相談支援事業(2事業所)	17,200千円	相談件数: 1,230件																																									
	身体障害者訪問入浴事業(1事業所)	688千円	利用回数: 44回																																									
	地域活動支援センター事業(3事業所)	46,253千円	利用者数: 1,173人																																									
	障害者・児童日中一時支援事業(12事業所)	42,808千円	利用回数: 8,671回																																									
	京都歯科サービスセンター北部診療所 運営事業	153千円	患者数: 22人																																									
	身体障害者自動車改造助成事業	200千円	交付者数: 2人																																									
	福祉タクシー利用券・福祉ガソリン利用券 交付事業(印刷製本費含む)	4,944千円	交付者数: 1,153人																																									
	成年後見制度利用支援事業 ※後見人への報酬助成、登記手数料等	780千円	利用者数: 3人																																									
	合計	141,035千円																																										
成果・課題	<p>○相談支援をはじめとした各種事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、利用者のニーズを把握し、必要なサービスの提供に努めた。</p> <p>○利用者のニーズに応じたサービスについて事業所と連携しながら検討を進める必要がある。</p>																																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費							8,393千円	8,394千円	1千円	99.9 %														
	目	03 障害者福祉費										(参考)当初予算額														
	事業	08 障害者就労支援事業										9,535千円														
課	障害者福祉課																									
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金			1,200千円																		
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				6,000千円																	
目的	障害者の就労等を支援する事業を実施し、障害者の就労促進と自立支援を図る。																									
主要な事務・事業の概要	○需用費（雇用促進リーフレットを作成し、商工会員等へ配付）		5千円	○障害者施設製品販売支援事業補助金			7,000千円																			
	○障害者職場実習促進事業補助金		173千円	【クリエイティブショップくりくりの主な取組】																						
市役所や図書館、病院等で職場実習生を受け入れるにあたり、実習を受け入れた企業、実習生のサポートを行うジョブコーチを配置する社会福祉法人及び実習生に対して奨励金を支給した。				・企画展の開催		リニューアル1周年祭と周年祭を同時開催するだけでなく、陶芸展、紙すき展、木工展、さをり展を開催。事業所で作業に取り組む仲間の様子を写真で紹介するなど障害者理解に努めた。																				
・福祉事業所奨励金 1社会福祉法人（40日間）		160千円	・市内外への広報啓発の取組		新聞や市フェイスブック、ケーブルテレビ等で広報することにより、集客率アップに繋げることができた。又、ふるさと納税制度を活用し、市内外へ広く認知してもらえる取組を展開した。																					
・実習生実習奨励金 4人（40日間）		13千円																								
○障害福祉サービス事業所等工賃向上支援事業補助金		1,215千円																								
障害福祉サービス事業所等が、障害者の工賃向上のために行う製品開発及び販売促進等の事業に対し、経費の一部を助成した。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容等</th> <th>施設数</th> <th>助成額</th> <th>事業内容等</th> <th>施設数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品質改善・新商品開発</td> <td>7施設</td> <td>291千円</td> <td>販売促進活動</td> <td>8施設</td> <td>317千円</td> </tr> <tr> <td>品質改善等に係る設備整備</td> <td>7施設</td> <td>522千円</td> <td>製造効率化等</td> <td>3施設</td> <td>85千円</td> </tr> </tbody> </table>		事業内容等	施設数	助成額	事業内容等	施設数	助成額	品質改善・新商品開発	7施設	291千円	販売促進活動	8施設	317千円	品質改善等に係る設備整備	7施設	522千円	製造効率化等	3施設	85千円							
事業内容等	施設数	助成額	事業内容等	施設数	助成額																					
品質改善・新商品開発	7施設	291千円	販売促進活動	8施設	317千円																					
品質改善等に係る設備整備	7施設	522千円	製造効率化等	3施設	85千円																					
						成果・課題																				
						○障害者職場実習を通じて、障害者の就労意欲と職場適応能力の向上支援を行い、一般就労につなげる等障害者の自立を図ることができた。 ○常設販売店への運営・移転支援を通じて、障害者施設製品の情報発信と障害者の就労意欲の向上の一助とすることができた。 ○障害福祉サービス事業所等への助成を通じて、障害者の工賃向上のために施設が意欲的に取り組む環境を創出することができた。																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,883千円	6,978千円	95千円	(参考)当初予算額	7,058千円	98.6 %				
	目	03 障害者福祉費						課	障害者福祉課			
	事業	09 心のバリアフリー促進事業										
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）		2,080千円					
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）		1,041千円					
目的	障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるように障害者理解の促進と啓発事業を実施し、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域の一員として共生できる社会を目指す。			府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金（1/2）		74千円					
主要な事務・事業の概要	○心のバリアフリー啓発・理解促進事業 ・「手話を知ろう！」（200冊） 33千円 障害者理解の啓発用冊子を購入し、出前講座で配付した。			○難聴児補聴器購入費助成事業 150千円 補装具費支給制度に該当しない18歳未満の児童に対する補聴器購入等の費用の一部を助成した。 助成件数：2件								
	○意思疎通支援事業 ※通訳等回数：247回 6,215千円 ・手話通訳者の設置 5,980千円 ・手話通訳者・要約筆記奉仕員等の派遣 235千円 聴覚言語障害者が医療機関等に出向く場合や社会活動に参加する場合等に意思疎通支援として手話通訳者等を派遣した。			○全国手話言語市区長会会費 10千円								
	○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業 475千円 手話奉仕員養成事業（入門課程） 全14回（5月20日～9月2日） 受講者：20人（17人修了）			成果・課題	○意思疎通支援事業を委託することにより、病院等で聴覚障害者の情報保障を確保することができた。 ○平日及び日中に活動できる手話通訳者等が少なく、支援調整が困難な状況であるため、養成講座への参加促進による人材育成を図る必要がある。 ○障害者理解・啓発を促進するため、手話動画を市が主催するイベント等で積極的に活用していく必要がある。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	27,171千円	32,282千円	5,111千円	(参考)当初予算額	12,937千円	84.1%				
	目	03 障害者福祉費						課	障害者福祉課			
	事業	50 障害者福祉一般経費										
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進							主な財源	国補	障害者総合支援事業費補助金(1/2)	484千円	
			国委	特別児童扶養手当事務委託金	42千円							
				府委	在宅障害児・者等実態調査委託金	77千円						
				諸収入	市有自動車損害共済金	34千円						
目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で規定されている審査会の設置・運営のほか、障害者福祉に関する各種事業の円滑な実施のために必要な事務を行う。											
主要な事務・事業の概要	○報酬	1,056千円	○使用料及び賃借料		1,005千円							
	障害支援区分等認定審査会委員報酬(5人、12回開催)		ソフトウェア使用料		78千円							
	統計調査員報酬(2人)		障害者授産施設等運営用地賃借料		850千円							
	○報償費	511千円	認定調査、行事参加等有料道路通行料		77千円							
	講師謝金、身体・知的障害者等相談員謝金(15人)、調査協力謝礼品		○丹後視力障害者福祉センター後援会費		200千円							
	○旅費	84千円	○過年度国庫支出金返還金(介護給付費・訓練等給付費負担金等)		19,693千円							
	認定審査委員費用弁償、認定調査・研修会等出張旅費		参考		繰越明許費を除いた最終予算額		27,882千円					
	○需用費	258千円	実質的な予算執行率		97.4%							
	障害サービス受給者証台紙、事務用品、バス燃料費等		■令和5年度への繰越事業(障害者グループホーム整備費補助金)		4,400千円							
	○役務費	1,160千円	(令和5年7月未完了)									
障害支援区分医師意見書作成料(177件)等	815千円	成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で定められている審査会について、コロナ禍においても利用者へのサービス提供が滞ることがないように適切に運営することができた。									
通信運搬費(審査会資料、特別児童扶養手当書類等)	311千円		○障害福祉システムの保守により、障害福祉サービスに関する事務を円滑に行うことができた。									
ボランティア保険料、火災保険料	34千円											
○委託料	3,204千円											
障害福祉システム更新委託料等	1,067千円											
システム保守業務委託料(G-TrustⅡ・国保連)	1,142千円											
障害支援区分認定調査委託料(139件)	945千円											
バス運転委託料(京都府障害者のつどい等への参加)	50千円											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																																																																										
	項	01 社会福祉費							24,611千円	25,021千円	410千円	98.3 %																																																																																																						
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額																																																																																																						
	事業	01 敬老祝い事業										26,429千円																																																																																																						
課	長寿福祉課	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）		19,300千円																																																																																																														
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり																																																																																																																	
目的	高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表するため、喜寿、米寿及び長寿の祝い品の贈呈並びに敬老祝い事業に対して補助金を交付する。		主な財源																																																																																																															
主要な事務・事業の概要	<p>喜寿（77歳）、米寿（88歳）、長寿（新100歳）及び最高齢の方へ祝い品を贈呈するとともに、地区等主催の敬老祝い事業に対して補助金を交付した。</p> <p>○喜寿、米寿、新100歳、最高齢の方への祝い品・筆耕料等 1,447千円</p> <p>○敬老祝い事業補助金（地区等開催） 23,164千円</p> <p>補助金対象年齢：75歳以上（補助金2,000円/人）</p>																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象団体数</th> <th>峰山</th> <th>大宮</th> <th>網野</th> <th>丹後</th> <th>弥栄</th> <th>久美浜</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施団体数</td> <td>35</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>31</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>うち、会開催による実施</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>うち、会非開催で実施</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>		対象団体数	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	実施団体数	35	18	24	31	18	12	138	うち、会開催による実施	2	3	4	5	4	4	22	うち、会非開催で実施	33	15	20	26	14	8	116	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">敬老祝い事業</th> <th colspan="3">祝い品贈呈者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">町別</th> <th rowspan="2">対象者数 (75歳以上)</th> <th rowspan="2">参加者数</th> <th colspan="2">参加率 (%)</th> <th rowspan="2">新100歳</th> <th rowspan="2">米寿</th> <th rowspan="2">喜寿</th> </tr> <tr> <th>参加率</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>2,335</td> <td>2,281</td> <td>97.7</td> <td>97.3</td> <td>8</td> <td>111</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>1,781</td> <td>1,776</td> <td>99.7</td> <td>98.6</td> <td>6</td> <td>88</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>2,903</td> <td>2,865</td> <td>98.7</td> <td>98.0</td> <td>15</td> <td>134</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,299</td> <td>1,272</td> <td>97.9</td> <td>99.1</td> <td>10</td> <td>54</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,157</td> <td>1,125</td> <td>97.2</td> <td>99.8</td> <td>9</td> <td>53</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>2,203</td> <td>2,200</td> <td>99.9</td> <td>98.4</td> <td>7</td> <td>100</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,678</td> <td>11,519</td> <td>98.6</td> <td>98.3</td> <td>55</td> <td>540</td> <td>607</td> </tr> </tbody> </table>						敬老祝い事業					祝い品贈呈者数			町別	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率 (%)		新100歳	米寿	喜寿	参加率	前年度	峰山	2,335	2,281	97.7	97.3	8	111	134	大宮	1,781	1,776	99.7	98.6	6	88	101	網野	2,903	2,865	98.7	98.0	15	134	153	丹後	1,299	1,272	97.9	99.1	10	54	61	弥栄	1,157	1,125	97.2	99.8	9	53	55	久美浜	2,203	2,200	99.9	98.4	7	100	103	合計	11,678	11,519	98.6	98.3	55	540	607
	対象団体数	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																																																										
	実施団体数	35	18	24	31	18	12	138																																																																																																										
うち、会開催による実施	2	3	4	5	4	4	22																																																																																																											
うち、会非開催で実施	33	15	20	26	14	8	116																																																																																																											
敬老祝い事業					祝い品贈呈者数																																																																																																													
町別	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率 (%)		新100歳	米寿	喜寿																																																																																																											
			参加率	前年度																																																																																																														
峰山	2,335	2,281	97.7	97.3	8	111	134																																																																																																											
大宮	1,781	1,776	99.7	98.6	6	88	101																																																																																																											
網野	2,903	2,865	98.7	98.0	15	134	153																																																																																																											
丹後	1,299	1,272	97.9	99.1	10	54	61																																																																																																											
弥栄	1,157	1,125	97.2	99.8	9	53	55																																																																																																											
久美浜	2,203	2,200	99.9	98.4	7	100	103																																																																																																											
合計	11,678	11,519	98.6	98.3	55	540	607																																																																																																											
<p>※ 令和4年度から次の見直しを実施</p> <p>① 敬老会対象者数に応じて交付していた基礎額を廃止</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症等に関係なく、敬老会を開催せずに祝い品を配付した場合でも補助対象</p> <p>※ 敬老会を開催した22団体のうち、17団体は福祉施設</p>																																																																																																																		
成果・課題	<p>敬老事業の支援や喜寿、米寿、新100歳及び最高齢の方に対する祝い品の贈呈を通し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表することができた。</p>																																																																																																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							141,360千円	141,876千円	516千円	99.6 %
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	02 老人保護措置事業										145,423千円
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		負担金		老人福祉施設措置費負担金		28,398千円					
目的	原則65歳以上で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅生活の継続が困難な方を養護老人ホーム等に入所措置し、見守りのもと、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホーム等に入所措置した。											
	<ul style="list-style-type: none"> ○養護老人ホーム等入所措置事務費 23千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入所及び退所事務手続時の職員旅費 2千円 ・入所判定委員会開催経費 <ul style="list-style-type: none"> 委員報償費（4千円×委員2人×2回） 16千円 費用弁償 1千円 ・有料道路通行料（入所前面談） 4千円 ○養護老人ホーム等入所措置費 141,337千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入所施設 養護老人ホーム満寿園ほか3施設 ・入所者数 63人（R5.3.31現在） 											
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅生活の継続が困難な高齢者について、在宅生活における不安の解消・生活改善を図るため、居宅介護支援事業所・地域包括支援センター等と連携して、入所措置につなげることができた。 ○入所待機者の生活状況等を正確に把握し、適切な入所措置を引き続き行う必要がある。 ○国の指針に基づいた措置費により算定しているが、物価高騰に伴い国の措置費の見直しを他の自治体とも連携し、要望していく必要がある。 											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費	5,746千円	5,905千円	159千円	97.3 %										
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	課	長寿福祉課								
	事業	03 老人クラブ 活性化支援事業				6,405千円										
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補		老人クラブ 助成事業費補助金 (2/3)		2,994千円									
目的	老人クラブの活動に対して補助を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、高齢者の社会参加を推進する。		主な財源													
主要な事務・事業の概要	老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う健康づくり事業、啓発・広報広聴事業等に対し、補助金を交付した。															
	<p>○老人クラブ活性化支援補助金 5,746千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位老人クラブ（72クラブ）の活動に対する補助 3,290千円 ・市老人クラブ連合会（1,419人）の活動に対する補助 300千円 ・各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 436千円 ・市老人クラブ連合会の発行する広報紙に対する補助 434千円 ・市老人クラブ連合会事務局員設置（1人）に対する補助 1,200千円 ・府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助 55千円 ・世代間交流事業に対する補助 31千円 <p>※参考</p> <table border="0"> <tr> <td>R4</td> <td>72クラブ</td> <td>1,419人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>78クラブ</td> <td>1,688人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>85クラブ</td> <td>1,858人</td> </tr> </table>		R4	72クラブ	1,419人	R3	78クラブ	1,688人	R2	85クラブ	1,858人					
R4	72クラブ	1,419人														
R3	78クラブ	1,688人														
R2	85クラブ	1,858人														
成果・課題	<p>○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕活動等を支援することで、健康保持及び社会貢献を目的とした各種活動の円滑な実施に寄与することができた。</p> <p>○年々会員数が減少しているため、老人クラブが行う会員拡大、加入促進といった取組を引き続き支援していく必要がある。</p>															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																											
	項	01 社会福祉費							8,024千円	9,529千円	1,505千円	84.2 %																																																							
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額																																																							
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業										11,829千円																																																							
課	長寿福祉課	1,000千円																																																																	
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補 きょうと地域連携交付金（福祉有償運送運営助成事業）																																																																
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。		主な財源																																																																
主要な事務・事業の概要	<p>公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援した。</p> <p>○福祉有償運送事業補助金 8,024千円</p> <p>※総事業費 13,155千円 - 利用料等収入 5,131千円</p> <p>・実施主体：京丹後市社会福祉協議会</p> <p>・事業実績：実利用者数 84人（R3： 99人）</p> <p>延べ利用回数 5,337回（R3： 5,885回）</p>			<p>■実績内訳（令和5年3月末現在） (単位：人、回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">利用登録者数等</td> <td>登録者数</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>33</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>実利用者</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>31</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対象者延べ利用回数</td> <td>高齢者</td> <td>75</td> <td>114</td> <td>369</td> <td>53</td> <td>55</td> <td>218</td> <td>884</td> </tr> <tr> <td>透析者</td> <td>400</td> <td>33</td> <td>964</td> <td>362</td> <td>0</td> <td>2,418</td> <td>4,177</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>2</td> <td>64</td> <td>83</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>121</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>477</td> <td>211</td> <td>1,416</td> <td>421</td> <td>55</td> <td>2,757</td> <td>5,337</td> </tr> </tbody> </table>						区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	利用登録者数等	登録者数	10	17	26	7	10	33	103	実利用者	7	13	21	7	5	31	84	対象者延べ利用回数	高齢者	75	114	369	53	55	218	884	透析者	400	33	964	362	0	2,418	4,177	障害者	2	64	83	6	0	121	276	合計	477	211	1,416	421	55	2,757	5,337
	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																																																											
利用登録者数等	登録者数	10	17	26	7	10	33	103																																																											
	実利用者	7	13	21	7	5	31	84																																																											
対象者延べ利用回数	高齢者	75	114	369	53	55	218	884																																																											
	透析者	400	33	964	362	0	2,418	4,177																																																											
	障害者	2	64	83	6	0	121	276																																																											
	合計	477	211	1,416	421	55	2,757	5,337																																																											
成果・課題	補助金の交付により、事業者が行う高齢者や障害者の日常生活の移動支援の取組の実施に寄与することができた。																																																																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 10,339千円	最終予算額 14,436千円	不用額 4,097千円	執行率	部 健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費				71.6 %	
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業				14,436千円	
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源 府補	介護保険事業費補助金 (3/4)			7,754千円
目的	介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対して助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。						
主要な事務・事業の概要	<p>低所得で生計の維持が困難である者が介護保険サービスを利用した際の利用者負担額の軽減を行った社会福祉法人等へその一部を助成した。</p> <p>○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 10,339千円 助成金交付法人等数：15法人等 利用者負担軽減対象者数：延べ353人</p>						
	成果・課題	<p>低所得で生計が困難な要介護者等が、介護サービス費等の負担軽減を受けられるように社会福祉法人等を支援することで、高齢者福祉の増進を図ることができた。</p>					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 10,096千円	最終予算額 10,097千円	不用額 1千円	執行率	部 健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費				99.9 %																									
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額																									
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業				10,097千円																									
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																												
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を補助し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。																														
主要な事務・事業の概要	<p>介護が必要になった高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、社会福祉法人の拠点施設の整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助対象：社会福祉法人が整備する社会福祉施設に係る事業 平成29年度までの借りに係るもの 補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部 																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>補助金額</th> <th>償還終了年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金</td> <td>1,884千円</td> <td>令和10年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金</td> <td>1,065千円</td> <td>令和6年度</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム満寿園改築資金</td> <td>120千円</td> <td>令和10年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園建設資金</td> <td>2,416千円</td> <td>令和12年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームふるさと建設資金</td> <td>2,493千円</td> <td>令和19年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームふるさと増築資金</td> <td>2,118千円</td> <td>令和28年度</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,096千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			用途	補助金額	償還終了年度	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	1,884千円	令和10年度	特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	1,065千円	令和6年度	養護老人ホーム満寿園改築資金	120千円	令和10年度	特別養護老人ホーム満寿園建設資金	2,416千円	令和12年度	特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,493千円	令和19年度	特別養護老人ホームふるさと増築資金	2,118千円	令和28年度	合計	10,096千円					
	用途	補助金額	償還終了年度																												
	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	1,884千円	令和10年度																												
	特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	1,065千円	令和6年度																												
	養護老人ホーム満寿園改築資金	120千円	令和10年度																												
	特別養護老人ホーム満寿園建設資金	2,416千円	令和12年度																												
	特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,493千円	令和19年度																												
特別養護老人ホームふるさと増築資金	2,118千円	令和28年度																													
合計	10,096千円																														
			成果・課題																												
				<p>資金借入により基盤整備を行った社会福祉法人に対し、借入金の返済の一部を補助することにより、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図ることができた。</p>																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費							8,402千円	8,644千円	242千円	97.2 %								
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額								
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業										8,145千円	課	長寿福祉課						
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		使用料	網野高齢者すこやかセンター使用料		3,122千円														
目的	サークル活動などの会場と入浴の場を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。		主な財源																	
主要な事務・事業の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○施設維持管理費 8,402千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 4,969千円 ・役務費（通信運搬費、火災保険料、家電リサイクル料等） 103千円 ・委託料（運営管理委託料、ボイラー保守点検等） 3,281千円 ・備品購入費（洗濯機1台） 49千円 <p>■年間施設利用者数（延べ人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入浴利用者数</td> <td>15,331人</td> <td>13,180人</td> <td>13,903人</td> </tr> <tr> <td>貸館利用者数</td> <td>2,264人</td> <td>1,910人</td> <td>2,967人</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度	令和3年度	令和2年度	入浴利用者数	15,331人	13,180人	13,903人	貸館利用者数	2,264人	1,910人	2,967人					
		令和4年度	令和3年度	令和2年度																
入浴利用者数	15,331人	13,180人	13,903人																	
貸館利用者数	2,264人	1,910人	2,967人																	
				成果・課題	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者の生きがいや健康づくりに貢献することができた。</p> <p>○利用者の増加等による収入の増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。</p> <p>○ボイラー等の設備が老朽化してきていることから、今後の対応を検討しておく必要がある。</p>															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							1,017,003千円	1,024,965千円	7,962千円	99.2 %
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金										1,064,459千円
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国負	低所得者保険料軽減負担金(1/2)	46,698千円						
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。			府負	低所得者保険料軽減負担金(1/4)	23,349千円						
主要な事務・事業の概要	介護保険事業を円滑に推進するため、介護給付費の公費相当分、事務費相当分、地域支援事業費分及び低所得者保険料軽減相当分について、一般会計から繰り出しを行った。											
	○介護給付費公費相当分	766,872千円										
	○地域支援事業費	86,056千円										
	・介護予防事業費分	60,848千円										
	・包括的支援事業・任意事業費分 (地域包括支援センター事業ほか)	18,533千円										
・包括的支援事業・社会保障充実分 (認知症地域支援・ケア向上事業ほか)	6,675千円											
○事務費分	72,968千円											
・一般事務費(一般管理費、賦課徴収費、趣旨普及費)	9,473千円											
・認定事務費(介護認定審査会費、認定調査等費)	63,495千円											
○低所得者保険料軽減繰出金	91,107千円											
				成果・課題								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 44,000千円	最終予算額 44,000千円	不用額 0千円	執行率	部 健康長寿福祉部																									
	項	01 社会福祉費				100.0 %																										
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額																										
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金				44,000千円		課 長寿福祉課																								
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																													
目的	介護サービス事業特別会計へ繰出金を支出することにより、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの安定した運営を図る。																															
主要な事務・事業の概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		44,000千円																													
	【参考】介護サービス事業の収支 (①+②)		△ 41,783千円	・京丹後市網野デイサービスセンター <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">歳入</td> <td>サービス収入</td> <td>53,068千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>489千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>121千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>12,600千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>66,278千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歳出</td> <td>施設管理費</td> <td>19,871千円</td> </tr> <tr> <td>サービス事業費</td> <td>45,883千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65,754千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収支 ②</td> <td>524千円</td> </tr> </tbody> </table>					項目	金額	歳入	サービス収入	53,068千円	府支出金	489千円	諸収入	121千円	市債	12,600千円		計	66,278千円	歳出	施設管理費	19,871千円	サービス事業費	45,883千円	計	65,754千円		収支 ②	524千円
		項目	金額																													
歳入	サービス収入	53,068千円																														
	府支出金	489千円																														
	諸収入	121千円																														
	市債	12,600千円																														
	計	66,278千円																														
歳出	施設管理費	19,871千円																														
	サービス事業費	45,883千円																														
	計	65,754千円																														
	収支 ②	524千円																														
・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>使用料及び手数料</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>25,961千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,985千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歳出</td> <td>施設管理費</td> <td>38千円</td> </tr> <tr> <td>公債費</td> <td>68,254千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68,292千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収支 ①</td> <td>△ 42,307千円</td> </tr> </tbody> </table>			項目	金額	歳入	使用料及び手数料	24千円	諸収入	25,961千円	計	25,985千円	歳出	施設管理費	38千円	公債費	68,254千円	計	68,292千円		収支 ①	△ 42,307千円											
	項目	金額																														
歳入	使用料及び手数料	24千円																														
	諸収入	25,961千円																														
	計	25,985千円																														
歳出	施設管理費	38千円																														
	公債費	68,254千円																														
	計	68,292千円																														
	収支 ①	△ 42,307千円																														
				成果・課題																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																						
	項	01 社会福祉費							3,533千円	3,883千円	350千円	90.9 %																		
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額																		
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業										3,817千円																		
課	長寿福祉課																													
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債） 2,700千円																											
目的	指定管理者の創意工夫に基づいた高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。		主な財源																											
主要な事務・事業の概要	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の管理運営を円滑に行うための経費を支出した。																													
	○指定管理委託料		3,487千円																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th rowspan="2">委託料</th> <th colspan="3">延べ利用者数</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網野社会参加交流ハウス</td> <td>1,788千円</td> <td>8,114人</td> <td>5,691人</td> <td>4,804人</td> </tr> <tr> <td>弥栄生きがい交流センター</td> <td>1,699千円</td> <td>790人</td> <td>776人</td> <td>1,063人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,487千円</td> <td>8,904人</td> <td>6,467人</td> <td>5,867人</td> </tr> </tbody> </table>								施設名称	委託料	延べ利用者数			令和4年度	令和3年度	令和2年度	網野社会参加交流ハウス	1,788千円	8,114人	5,691人	4,804人	弥栄生きがい交流センター	1,699千円	790人	776人	1,063人	合計	3,487千円	8,904人	6,467人
施設名称	委託料	延べ利用者数																												
		令和4年度	令和3年度	令和2年度																										
網野社会参加交流ハウス	1,788千円	8,114人	5,691人	4,804人																										
弥栄生きがい交流センター	1,699千円	790人	776人	1,063人																										
合計	3,487千円	8,904人	6,467人	5,867人																										
○建物火災保険料		46千円																												
成果・課題																														
高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図ることができた。																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							149千円	149千円	0千円	100.0 %
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	12 介護予防安心住まい推進事業										480千円
課	長寿福祉課	149千円										
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補	介護予防安心住まい推進事業費補助金（10/10）				149千円				
目的	生活機能が低下し要支援・要介護状態となる恐れのある65歳以上の高齢者の生活機能の維持のため、住宅改修費用の一部を助成し、高齢者世帯の経済的負担の軽減を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○介護予防安心住まい推進補助金（2件）		149千円									
	<p>対象者：次の①～③の全てに該当する方</p> <p>① 65歳以上の方</p> <p>② 要支援又は要介護の認定を受けていないが、今後認定の可能性が高い方</p> <p>③ 市民税非課税世帯である方</p> <p>対象工事：手すりの設置、段差の解消、すべり防止等</p> <p>補助率：2/3（補助上限額：160千円）</p>											
					成果・課題	要介護状態となる恐れが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を補助することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止が図られ、高齢者の自宅での生活を支援することができた。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																
	項	01 社会福祉費							33,683千円	33,683千円	0千円	100.0 %												
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額												
	事業	15 高齢者福祉施設整備事業										38,634千円	課	長寿福祉課										
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		国補	地域介護・福祉空間整備等交付金（10/10）		6,639千円																		
目的	介護基盤の整備・充実を図るため、小規模多機能型居宅介護事業所が行う宿泊棟増築事業に係る経費を支援する。 また、介護施設の防災・減災対策の推進に向け、非常用自家発電設備の整備に係る経費を支援する。		主な財源	府補	地域密着型サービス等整備助成事業補助金（10/10）		27,044千円																	
主要な事務・事業の概要	○地域密着型サービス施設整備事業費補助金			27,044千円	○地域介護・福祉空間施設整備費補助金			6,639千円																
	対象施設：小規模多機能型居宅介護事業所ほっこ里				対象施設：はごろも苑ないきの家																			
	補助率：10/10（国2/3、府1/3）				補助率：10/10（国10/10）																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業内容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型サービス施設等の整備支援</td> <td>宿泊棟（宿泊室6室）の増築</td> <td>24,016千円</td> </tr> <tr> <td>施設開設準備経費支援</td> <td>宿泊室に必要な備品（ベッド、テレビ等）の整備</td> <td>3,028千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>27,044千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	事業内容	補助金額	地域密着型サービス施設等の整備支援	宿泊棟（宿泊室6室）の増築	24,016千円	施設開設準備経費支援	宿泊室に必要な備品（ベッド、テレビ等）の整備	3,028千円	合計		27,044千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業内容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用自家発電設備の整備経費支援</td> <td>非常用自家発電設備（1基）の整備</td> <td>6,639千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	事業内容	補助金額	非常用自家発電設備の整備経費支援	非常用自家発電設備（1基）の整備
事業区分	事業内容	補助金額																						
地域密着型サービス施設等の整備支援	宿泊棟（宿泊室6室）の増築	24,016千円																						
施設開設準備経費支援	宿泊室に必要な備品（ベッド、テレビ等）の整備	3,028千円																						
合計		27,044千円																						
事業区分	事業内容	補助金額																						
非常用自家発電設備の整備経費支援	非常用自家発電設備（1基）の整備	6,639千円																						
			成果・課題	○宿泊棟増築事業に係る経費を支援することで、市内の介護施設の充実を図ることができた。 ○非常用自家発電設備の整備を支援することで、介護施設における利用者の安全・安心の確保に向けた環境整備を推進することができた。																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																							
	項	01 社会福祉費							100,943千円	102,437千円	1,494千円	98.5 %																																			
	目	04 高齢者福祉費										(参考)繰越予算額																																			
	事業	15 高齢者福祉施設整備事業（繰越）										102,437千円																																			
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	地域介護・福祉空間整備等交付金（10/10）	6,997千円																																									
目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、家族面会室の感染症対策や多床室の個室化改修等に係る経費を支援する。 また、介護施設の防災・減災対策の推進に向け、非常用自家発電設備の整備に係る経費を支援する。			府補	地域密着型サービス等整備助成事業補助金（10/10）	93,946千円																																									
主要な事務・事業の概要	○地域密着型サービス施設整備事業費補助金 93,946千円 対象施設：特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム等 補助率：10/10（国2/3、府1/3）			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従来型個室・多床室のゾーニング経費支援</td> <td rowspan="3">特別養護老人ホーム 丹後園</td> <td>18,000千円</td> </tr> <tr> <td>多床室の個室化に要する改修費支援</td> <td>52,812千円</td> </tr> <tr> <td>大規模修繕時の介護ロボット・ICT導入支援</td> <td>19,320千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>90,132千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業区分	施設名	補助金額	従来型個室・多床室のゾーニング経費支援	特別養護老人ホーム 丹後園	18,000千円	多床室の個室化に要する改修費支援	52,812千円	大規模修繕時の介護ロボット・ICT導入支援	19,320千円	小計		90,132千円																										
	事業区分	施設名	補助金額																																												
	従来型個室・多床室のゾーニング経費支援	特別養護老人ホーム 丹後園	18,000千円																																												
	多床室の個室化に要する改修費支援		52,812千円																																												
	大規模修繕時の介護ロボット・ICT導入支援		19,320千円																																												
	小計		90,132千円																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">家族面会室の感染症対策整備経費支援 ※空気清浄機、パーティション用会話補助システム等の整備</td> <td>総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>グループホーム かえで</td> <td>108千円</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム 丹後園</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム 第二丹後園</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>グループホーム あみの</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいホーム あみの</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいホーム 桃山</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>ケアハウス 丹後園</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム ふるさと</td> <td>578千円</td> </tr> <tr> <td>サービス付き高齢者向け住宅 ほほえみ</td> <td>533千円</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム いちがお園</td> <td>286千円</td> </tr> <tr> <td>地域密着型介護老人福祉施設 宇川いちがお園</td> <td>253千円</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム 海山園</td> <td>173千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>3,814千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	施設名	補助金額	家族面会室の感染症対策整備経費支援 ※空気清浄機、パーティション用会話補助システム等の整備	総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑	101千円	グループホーム かえで	108千円	特別養護老人ホーム 丹後園	297千円	特別養護老人ホーム 第二丹後園	297千円	グループホーム あみの	297千円	ふれあいホーム あみの	297千円	ふれあいホーム 桃山	297千円	ケアハウス 丹後園	297千円	特別養護老人ホーム ふるさと	578千円	サービス付き高齢者向け住宅 ほほえみ	533千円	特別養護老人ホーム いちがお園	286千円	地域密着型介護老人福祉施設 宇川いちがお園	253千円	特別養護老人ホーム 海山園	173千円	小計		3,814千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用自家発電設備整備経費支援</td> <td>グループホーム かえで</td> <td>6,997千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業区分	施設名	補助金額	非常用自家発電設備整備経費支援	グループホーム かえで	6,997千円
	事業区分	施設名	補助金額																																												
	家族面会室の感染症対策整備経費支援 ※空気清浄機、パーティション用会話補助システム等の整備	総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑	101千円																																												
		グループホーム かえで	108千円																																												
特別養護老人ホーム 丹後園		297千円																																													
特別養護老人ホーム 第二丹後園		297千円																																													
グループホーム あみの		297千円																																													
ふれあいホーム あみの		297千円																																													
ふれあいホーム 桃山		297千円																																													
ケアハウス 丹後園		297千円																																													
特別養護老人ホーム ふるさと		578千円																																													
サービス付き高齢者向け住宅 ほほえみ		533千円																																													
特別養護老人ホーム いちがお園	286千円																																														
地域密着型介護老人福祉施設 宇川いちがお園	253千円																																														
特別養護老人ホーム 海山園	173千円																																														
小計		3,814千円																																													
事業区分	施設名	補助金額																																													
非常用自家発電設備整備経費支援	グループホーム かえで	6,997千円																																													
○地域介護・福祉空間施設整備費補助金 6,997千円 対象施設：認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所等 補助率：10/10（国10/10）			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用自家発電設備整備経費支援</td> <td>グループホーム かえで</td> <td>6,997千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業区分	施設名	補助金額	非常用自家発電設備整備経費支援	グループホーム かえで	6,997千円																																		
事業区分	施設名	補助金額																																													
非常用自家発電設備整備経費支援	グループホーム かえで	6,997千円																																													
成果・課題			<p>○家族面会室における感染症対策のための整備経費やゾーニング環境の整備、多床室の個室化に要する改修を支援することで、介護施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組に寄与することができた。</p> <p>○非常用自家発電設備の整備を支援することで、介護施設における利用者の安全・安心の確保に向けた環境整備を推進することができた。</p>																																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																					
	項	01 社会福祉費							19,050千円	19,050千円	0千円	100.0%																	
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額																	
	事業	16 シルバ-人材センター運営助成事業										19,050千円	課	長寿福祉課															
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																										
目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会的参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。																												
主要な事務・事業の概要	<p>シルバー人材センターへ運営費を支援することにより、定年退職者等の地域に密着した就業機会の確保、また高齢者の生きがいの充実や社会参加の機会確保を図る。</p> <p>○シルバー人材センター運営費補助金 19,000千円</p> <p>【事業概要】労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度末</th> <th>令和3年度末</th> <th>令和2年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員数</td> <td>682人</td> <td>692人</td> <td>716人</td> </tr> <tr> <td>就業延べ人員</td> <td>62,464人</td> <td>66,276人</td> <td>69,636人</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>4,582件</td> <td>4,737件</td> <td>4,844件</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>309,477千円</td> <td>299,863千円</td> <td>306,246千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京都府シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円</p>			令和4年度末	令和3年度末	令和2年度末	正会員数	682人	692人	716人	就業延べ人員	62,464人	66,276人	69,636人	受注件数	4,582件	4,737件	4,844件	契約金額	309,477千円	299,863千円	306,246千円							
		令和4年度末	令和3年度末	令和2年度末																									
	正会員数	682人	692人	716人																									
就業延べ人員	62,464人	66,276人	69,636人																										
受注件数	4,582件	4,737件	4,844件																										
契約金額	309,477千円	299,863千円	306,246千円																										
成果・課題	<p>○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保に繋ぐことができた。</p> <p>○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていく必要がある。</p> <p>○会員が少しずつ減少していることから、会員確保に向けた取組を市としても支援していく必要がある。</p>																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費							418千円	800千円	382千円	52.2 %
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額
	事業	17 百才活力社会推進事業										800千円
課	長寿福祉課											
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金	380千円						
				諸収入	京丹後市百寿人生のいし 販売代金	48千円						
目的	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の実現に向けた取組を進める。											
主要な事務・事業の概要	<p>〈働くシニア応援プロジェクトの実施〉</p> <p>シルバー人材センター等の関係機関と連携し、元気な高齢者の生きがいづくりと健康を増進するとともに、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進することにより、百才活力社会の推進及び地域の活性化を図る。</p> <p>■講演会と就職相談会の開催 194千円</p> <p>○委託料（百才活力社会推進事業委託料） 194千円</p> <p>【開催日】令和4年10月2日（日）</p> <p>【場所】峰山総合福祉センター</p> <p>【内容】</p> <p>①いきいきシニア講演会</p> <p>これであなたも生涯現役！～＜健康＞で長生きするための3つの秘訣～</p> <p>講師：ヘルスケアプランナー 塩路けい子 氏</p> <p>参加者：58人</p> <p>②シニア就職相談会</p> <p>京丹後市シルバー人材センター、ハローワーク峰山、北京都ジョブパークがブースを設けて就職相談を実施。</p> <p>参加者：8人</p>			<p>■高齢者向け求人カタログの作成 224千円</p> <p>○消耗品費（掲載企業募集チラシ用紙代） 28千円</p> <p>○印刷製本費（求人カタログ印刷代） 196千円</p> <p>・求人カタログ</p> <p>発行時期：令和4年7月</p> <p>掲載企業：16社</p> <p>※全戸配布、関係機関の窓口に配架</p>								
	成果・課題				<p>○講演会と就職相談会の開催により、高齢者の生きがいづくりや健康増進のきっかけとするとともに、高齢者の就業機会の確保に寄与することができた。</p> <p>○高齢者向け求人カタログを作成し全戸配付するなど、高齢者の就業機会の確保に資することができた。</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 2,090千円	最終予算額 2,475千円	不用額 385千円	執行率	部 健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費				84.4 %		
	目	04 高齢者福祉費				(参考) 繰越予算額		
	事業	17 百才活力社会推進事業（繰越）				2,475千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的	京丹後の豊かな食材を生かした腸活レシピ集「～今を生きる～百寿人生のレシピ」第4版を発行し、長寿を支えてきた「伝統食」について紹介するなど、「長寿のまち」の秘訣を市内外に広く発信する。							
主要な事務・事業の概要	<p>○「～今を生きる～百寿人生のレシピ」第4版発行 2,090千円</p> <p>「～今を生きる～百寿人生のレシピ」第4版を発行し、「長寿のまち」の秘訣を市内外に広く発信した。</p> <p>令和4年6月発行</p> <p>配置先：国立国会図書館・京都府立図書館・郷土資料館・市内各図書館・各地域公民館・各小中学校 など</p> <p>全国官報販売協同組合及び京丹後市図書納入組合を通し全国販売</p> <p>・印刷製本費 2,088千円 （「百寿人生のレシピ」日本版 4,000部、英語版 1,000部発行）</p> <p>・使用料及び賃借料（著作物使用料） 2千円</p>			成果・課題	<p>「～今を生きる～百寿人生のレシピ」第4版発行を発行し、「長寿のまち」の秘訣を市内外に広く発信することができた。</p>			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費							2,288千円	2,673千円	385千円	85.5 %														
	目	04 高齢者福祉費										(参考)当初予算額														
	事業	18 高齢者外出支援事業										4,273千円														
課	長寿福祉課																									
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	700千円																				
				諸収入	高齢者外出支援クーポン販売代金	1,319千円																				
目的	高齢者の移動しやすい環境を整備し、外出支援及び社会参加の促進並びに市内の公共交通機関の利用促進を図る。																									
主要な事務・事業の概要	<p>対象者：満75歳以上の方</p> <p>使用期限：購入の日から1年間</p> <p>チケット種類：</p> <p>① 通常外出支援用（1冊4,000円綴りを2,000円で販売）</p> <p>病院、買い物、公共機関等へ行くときに利用されたタクシー運賃の支払いに利用できるチケット</p> <p>② 公共交通利用促進用（1冊2,000円綴りを1,000円で販売）</p> <p>自宅と最寄りのバス停の移動（片道又は往復）に利用されたタクシー運賃等に利用できるチケット</p> <p>■チケット種類別の販売・使用状況（令和5年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>チケット種類</th> <th>販売金額</th> <th>販売枚数</th> <th>使用数</th> <th>使用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常外出支援用</td> <td>1,316千円</td> <td>6,610枚</td> <td>5,339枚</td> <td>80.77%</td> </tr> <tr> <td>公共交通利用促進用</td> <td>3千円</td> <td>15枚</td> <td>10枚</td> <td>66.67%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,319千円</td> <td>6,625枚</td> <td>5,349枚</td> <td>80.74%</td> </tr> </tbody> </table>			チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率	通常外出支援用	1,316千円	6,610枚	5,339枚	80.77%	公共交通利用促進用	3千円	15枚	10枚	66.67%	合計	1,319千円	6,625枚	5,349枚	80.74%			
	チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率																					
通常外出支援用	1,316千円	6,610枚	5,339枚	80.77%																						
公共交通利用促進用	3千円	15枚	10枚	66.67%																						
合計	1,319千円	6,625枚	5,349枚	80.74%																						
						<p>○消耗品費 21千円</p> <p>○印刷製本費（案内チラシとチケット印刷代） 127千円</p> <p>○高齢者外出支援助成金 2,140千円</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常外出支援用 2,137千円 ・公共交通利用促進用 3千円 																				
成果・課題	<p>○高齢者の移動・外出しやすい環境整備に寄与することができた。</p> <p>○実証期間中（令和3年10月～令和6年3月）のデータを分析・検証し、事業の方向性について検討していく必要がある。</p>																									

予算科目	款	03 民生費	7,164千円	7,339千円	175千円	執行率	部 健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費				97.6 %	
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	
	事業	50 高齢者福祉一般経費				5,412千円	
課	長寿福祉課						
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源				
目的	高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に実施する。						
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助1人）		2,854千円	○使用料及び賃借料		519千円	
	○需用費		1,300千円	・土地借上料（グループホームかえで用地賃借料）		439千円	
	・消耗品費（事務用品、見守りQRコードシール59人配付）		434千円	・土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料）		80千円	
	・光熱水費（旧松風苑分）		837千円	○償還金、利子及び割引料		1,721千円	
	・修繕料（旧松風苑分）		29千円	・過年度国庫支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）		1,147千円	
	○役務費		323千円	・過年度府支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）		574千円	
	・火災保険料		48千円				
	・総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業）		267千円				
	加入者数：120人（令和4年度末時点 96人）						
	・通信運搬費（郵送料）		8千円				
	○委託料		447千円	成果・課題	○高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めることができた。		
	・自家用電気工作物保安管理業務委託料（旧松風苑分）		159千円		○認知症高齢者等見守りQRコードシール活用事業や認知症高齢者等個人賠償責任保険事業により、認知症高齢者等及びその家族が地域で安心して生活することができる環境整備に寄与することができた。		
	・旧松風苑施設管理委託料（草刈り、庭木剪定等）		93千円		○老人福祉センターとしての機能を廃止した旧松風苑について、今後の利活用について検討していく。		
	・旧常吉保育所建物表題登記業務委託料		195千円				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	02 児童福祉費							4,094千円	4,156千円	62千円	(参考)当初予算額
	目	01 児童福祉総務費										
	事業	04 ひとり親家庭対策総合支援事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	自立支援教育訓練給付費補助金(3/4)	14千円						
目的	ひとり親家庭の母又は父が、就職に有利な資格取得、職業能力開発の取組及び高等学校卒業程度認定試験の合格のための講座等を受講するために支援金を給付し、生活の負担軽減や自立の促進を図る。			国補	高等職業訓練促進費補助金(3/4)	2,263千円						
主要な事務・事業の概要	○自立支援教育訓練給付費 20千円 ・対象者：1人（医療事務（一般教育訓練給付金の指定教育訓練講座）） 教育訓練講座の受講料について、本人が支払った経費の6/10を給付（上限200千円、12千円を超えない場合は対象外） ※対象経費の60%から雇用保険法の規定による一般教育訓練に係る教育訓練給付金を差し引いた額			○過年度国庫支出金返還金 1,056千円 ・高等職業訓練促進費補助金事業 794千円 ・自立支援教育訓練給付金事業 150千円 ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 112千円								
	○高等職業訓練促進費 3,018千円 ・対象者：3人（准看護師、看護師、保育士） 140,000円/月×1人（市町村民税非課税世帯）×12か月 1,680千円 110,500円/月×1人（市町村民税課税世帯）×4か月 442千円 70,500円/月×1人（市町村民税課税世帯）×12か月 846千円 ・高等職業訓練修了支援金（1人） 50千円			成果・課題	ひとり親家庭に対し、自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金を支給し、その家庭の経済的負担を軽減することで、資格取得に向けた受講の継続を支援することができた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																										
	項	02 児童福祉費						498千円	526千円	28千円	(参考)当初予算額	94.6 %																						
	目	02 子育て支援費										健康推進課																						
	事業	07 子育て世代包括支援センター事業										815千円																						
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国補	母子保健衛生費国庫補助金(1/2)		185千円																												
			府補	地域少子化対策重点推進交付金(1/2)		36千円																												
目的	妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、必要な支援や関係機関との連携調整により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。また、子育て情報の発信により、子育てしやすい環境の整備を図る。		主な財源																															
主要な事務・事業の概要	○主な取組 ① 妊娠期からのワンストップの相談窓口対応 相談件数：延べ 1,085人 (R3：延べ1,049人) ② 助産師等による専門的な相談や教室の実施(産前産後サポート事業) 【教室等の実績】			③ 産後ケア事業の実施 利用実績：0人 ④ 子育て支援おむつ用ごみ袋支給事業の実施 対象者：295人/支給枚数：57,150枚																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マタニティクラス</td> <td>11回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>両親学級</td> <td>18回</td> <td>125人 (63組)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">赤ちゃんサロン</td> <td>1回目</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>151人</td> </tr> <tr> <td>パパ&ベビーサロン</td> <td>4回</td> <td>36人 (18組)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別相談</td> <td>なかよし広場</td> <td>5回</td> <td>73人 11月～再開</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター</td> <td>8回</td> <td>28人 各センター1回</td> </tr> <tr> <td>子育て支援ネットワーク会議</td> <td>1回</td> <td>13人 委員</td> </tr> </tbody> </table>			内容	実施回数	参加人数(延べ)	マタニティクラス	11回	30人	両親学級	18回	125人 (63組)	赤ちゃんサロン	1回目	158人	2回目	151人	パパ&ベビーサロン	4回	36人 (18組)	個別相談	なかよし広場	5回	73人 11月～再開	子育て支援センター	8回	28人 各センター1回	子育て支援ネットワーク会議	1回	13人 委員	○経費 498千円 ・助産師謝金 406千円 ・消耗品費 56千円 ・印刷製本費 36千円			
内容	実施回数	参加人数(延べ)																																
マタニティクラス	11回	30人																																
両親学級	18回	125人 (63組)																																
赤ちゃんサロン	1回目	158人																																
	2回目	151人																																
パパ&ベビーサロン	4回	36人 (18組)																																
個別相談	なかよし広場	5回	73人 11月～再開																															
	子育て支援センター	8回	28人 各センター1回																															
子育て支援ネットワーク会議	1回	13人 委員																																
成果・課題	○相談件数は、来所や電話相談など合わせて令和3年度よりも増え、産後、孤立しがちな子育て世代の相談場所、居場所としての認知を広めることができた。 ○産前産後サポート事業は、感染防止対策を取りながら継続実施し、令和3年度より参加者が増え、妊産婦の不安軽減につながった。 ○産後ケア事業は、妊娠期からのフォローや他サービス等で支援できたため、事業の利用はなかった。 ○おむつ用ごみ袋を支給し、子育て世代の経済的負担軽減を図った。																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 24千円	最終予算額 27千円	不用額 3千円	執行率	部 健康長寿福祉部																	
	項	02 児童福祉費				88.8 %																		
	目	02 子育て支援費				(参考)当初予算額	課 健康推進課																	
	事業	08 はは笑みプロジェクト外事業				27千円																		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源																					
目的	オンライン会議用ツールを活用し、子育て世代の方がオンライン上で子育てをテーマに様々な情報交流を行う機会とする。また、コロナ禍で外出機会が減少している中、交流の機会を増やし、お母さん同士がつながることで子育て支援の一助とする。																							
主要な事務・事業の概要	<p>自宅に居ながら参加できるようオンライン会議用ツール「Zoom」を活用し、市長や関係部局職員も含めた交流会を2回実施した。</p> <p>開催日 : 第1回 8月26日(金) : 第2回 12月14日(水)</p> <p>時間 : 10時30分~12時(1時間30分)</p> <p>テーマ : 「こころもからだも健やかに」</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>サブテーマ</th> <th>参加者数</th> <th>子育て事業 関係機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>おやこで食育</td> <td>37人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>こどものこころを育てる運動遊び</td> <td>24人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>61人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>				サブテーマ	参加者数	子育て事業 関係機関	第1回	おやこで食育	37人	2人	第2回	こどものこころを育てる運動遊び	24人	0人	合計		61人	2人					
		サブテーマ	参加者数	子育て事業 関係機関																				
	第1回	おやこで食育	37人	2人																				
第2回	こどものこころを育てる運動遊び	24人	0人																					
合計		61人	2人																					
	〇報償費(コーディネーター)	24千円		成果・課題	<p>〇全こども園にWi-Fi環境が整備されたことで、センターに参加している方にも自然な形で懇談会に参加していただくことができ、また懇談会を周知するよい機会にもなった。</p> <p>〇参加者が固定化しやすいことやオンラインでの対応が煩わしいと感じる方もおり、開催方法の検討が必要である。</p>																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	02 児童福祉費							27,000千円	29,000千円	2,000千円	93.1 %
	目	02 子育て支援費										(参考)当初予算額
	事業	09 こんにちは赤ちゃん応援給付金支給事業										0千円
課	健康推進課	国補		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	26,997千円							
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進											
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、不安を抱えながら子どもの誕生を迎える世帯について、当該世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○こんにちは赤ちゃん応援給付金 27,000千円 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに出生した新生児及び出産予定日が令和5年3月31日までである胎児に対して、市独自施策として1人10万円の応援給付金を給付。 ・給付対象者数 270人											
	参考	<table border="1"> <tr> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>27,500千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.1 %</td> </tr> </table>	繰越明許費を除いた最終予算額	27,500千円	実質的な予算執行率	98.1 %						
繰越明許費を除いた最終予算額	27,500千円											
実質的な予算執行率	98.1 %											
■令和5年度への繰越事業 ・こんにちは赤ちゃん応援給付金 1,500千円 (令和5年5月完了)												
		成果・課題	コロナ禍で出産を迎えた世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資することができた。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 300千円	最終予算額 1,500千円	不用額 1,200千円	執行率	部 健康長寿福祉部	
	項	02 児童福祉費				20.0 %		
	目	02 子育て支援費				(参考)繰越予算額	課 健康推進課	
	事業	09 こんにちは赤ちゃん応援給付金支給事業（繰越）				1,500千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源					
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、不安を抱えながら子どもの誕生を迎える世帯について、当該世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援する。							
主要な事務・事業の概要	○こんにちは赤ちゃん特別給付金 300千円 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに出生した新生児及び出産予定日が令和4年3月31日までである胎児に対して、市独自施策として1人10万円の応援給付金を給付するもの。 出生日が令和3年度末となり、出生届が令和4年4月以降になった3人の方へ給付を行った。							
	成果・課題	コロナ禍で出産を迎えた世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資することができた。						

予算科目	款	03 民生費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	02 児童福祉費		636,942千円	637,088千円	146千円	99.9 %																									
	目	03 児童福祉措置費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																							
	事業	01 児童手当支給事業					660,581千円																									
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進			国負	児童手当負担金	437,995千円																										
				府負	児童手当負担金	97,840千円																										
目的	児童手当を支給することで、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する。			主な財源																												
主要な事務・事業の概要	<p>○児童手当給付費 633,545千円</p> <p><令和4年4月～令和5年3月支給内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給月額</th> <th>延べ対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0～3歳未満</td> <td>被用者</td> <td>6,663人</td> <td>99,945千円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>1,658人</td> <td>24,870千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳以上～ 小学校修了前</td> <td>第1・2子</td> <td>28,843人</td> <td>288,430千円</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>5,663人</td> <td>84,945千円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>10千円</td> <td>13,071人</td> <td>130,710千円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>5千円</td> <td>929人</td> <td>4,645千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	支給月額	延べ対象児童数	支給額	0～3歳未満	被用者	6,663人	99,945千円	非被用者	1,658人	24,870千円	3歳以上～ 小学校修了前	第1・2子	28,843人	288,430千円	第3子以降	5,663人	84,945千円	中学生	10千円	13,071人	130,710千円	特例給付	5千円	929人	4,645千円	<p>○事務経費内訳 3,397千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員任用経費（事務補助1人） 2,473千円 ・消耗品費 22千円 ・印刷製本費 132千円 ・通信運搬費 770千円 	成果・課題
区分	支給月額	延べ対象児童数	支給額																													
0～3歳未満	被用者	6,663人	99,945千円																													
	非被用者	1,658人	24,870千円																													
3歳以上～ 小学校修了前	第1・2子	28,843人	288,430千円																													
	第3子以降	5,663人	84,945千円																													
中学生	10千円	13,071人	130,710千円																													
特例給付	5千円	929人	4,645千円																													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																										
	項	02 児童福祉費							166,687千円	166,723千円	36千円	99.9 %																						
	目	03 児童福祉措置費											(参考)当初予算額																					
	事業	02 児童扶養手当等支給事業												177,825千円																				
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国負	児童扶養手当給付費負担金 (1/3)		55,500千円																												
目的	ひとり親家庭等の児童を監護・養育している母又は父若しくは父母に代わってその児童を監護・養育する者に児童扶養手当を支給し、家庭生活の安定と自立の促進を図る。			主な財源																														
主要な事務・事業の概要	<p>○児童扶養手当給付費 166,151千円</p> <p>○過年度児童扶養手当給付費国庫負担金返還金 114千円</p> <p>○その他事務費（消耗品費、印刷製本費、通信運搬費） 422千円</p> <p>[児童扶養手当]</p> <p>支給金額：全部支給43,070円、一部支給10,160円～43,060円 ※児童2人以上を養育している場合は、全部支給で10,170円、一部支給では5,090円～10,160円を加算 ※3人目以降は、全部支給で6,100円、一部支給では1人につき3,050円～6,090円を加算 ※手当額はR4.4.1現在 支給月：1・3・5・7・9・11月の年6回</p>				<p>※児童扶養手当対象者の内訳</p> <p>全部支給：145人 一部支給：175人 全部停止：112人</p> <p>合計：432人</p>																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度末</th> <th>令和3年度末</th> <th>令和4年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひとり親家庭数</td> <td>496世帯</td> <td>473世帯</td> <td>449世帯</td> </tr> <tr> <td>うち母子家庭</td> <td>434世帯</td> <td>410世帯</td> <td>392世帯</td> </tr> <tr> <td>うち父子家庭</td> <td>62世帯</td> <td>63世帯</td> <td>57世帯</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当対象者</td> <td>475人</td> <td>458人</td> <td>432人</td> </tr> <tr> <td>うち新規認定者</td> <td>64人</td> <td>48人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当受給者</td> <td>357人</td> <td>352人</td> <td>320人</td> </tr> </tbody> </table>				令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	ひとり親家庭数	496世帯	473世帯	449世帯	うち母子家庭	434世帯	410世帯	392世帯	うち父子家庭	62世帯	63世帯	57世帯	児童扶養手当対象者	475人	458人	432人	うち新規認定者	64人	48人	39人	児童扶養手当受給者	357人	352人	320人	成果・課題	<p>○ひとり親家庭に対し、手当を支給することにより、その家庭の生活の安定と自立促進を支援することができた。</p> <p>○支給可能な世帯の申請漏れがないよう、今後も関係課と連携を密にするとともに、制度の周知徹底を図る必要がある。</p>	
	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末																															
ひとり親家庭数	496世帯	473世帯	449世帯																															
うち母子家庭	434世帯	410世帯	392世帯																															
うち父子家庭	62世帯	63世帯	57世帯																															
児童扶養手当対象者	475人	458人	432人																															
うち新規認定者	64人	48人	39人																															
児童扶養手当受給者	357人	352人	320人																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 231千円	最終予算額 231千円	不用額 0千円	執行率	部 健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費				100.0 %	
	目	03 児童福祉措置費				(参考)当初予算額	
	事業	03 児童入所施設措置事業				420千円	
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源				
目的	妊産婦が経済的理由により入院助産を受けることができない場合に、必要に応じて、府が指定した助産施設において助産するために入所措置を行う。						
主要な事務・事業の概要	令和3年度児童入所施設措置費等国庫負担金について、実績精算により返還した。						
	○過年度国庫支出金返還金 ・児童入所施設措置費等国庫負担金		231千円 231千円				
				成果・課題	令和4年度においては入所措置したケースはなかったが、引き続き関係機関との連携を強化することで制度の周知を図り、また、母等と監護される児童の生活の安定と安心が図れるよう支援する。		

予算科目	款	03 民生費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部						
	項	02 児童福祉費							69,327千円	69,802千円	475千円	(参考)当初予算額	99.3%		
	目	03 児童福祉措置費											0千円	課	生活福祉課
	事業	04 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業													
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補		子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金(10/10)		53,735千円							
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯の生活を支援するため、特別給付金を支給する。														
主要な事務・事業の概要	○子育て世帯生活支援特別給付金(対象児童1人につき5万円) 53,200千円				○支給対象者										
			児童扶養手当受給者	公的年金等受給者	家計急変者		1.ひとり親世帯								
	ひとり親世帯	決定件数	352件	17件	3件		①令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者								
		支給額	26,000千円	1,200千円	350千円		②公的年金等を受給していることにより、令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない者								
			非課税世帯		家計急変者		③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している者と同じ水準となっている者								
	ひとり親世帯以外	決定件数	253件		5件		2.ひとり親世帯以外の世帯								
		支給額	25,350千円		300千円		①令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者								
	○事務経費内訳 585千円				②令和4年5月～令和5年3月(対象児童が令和5年3月に出生した場合は、令和5年4月)までのいずれかの月の分の児童手当又は特別児童扶養手当の認定を受けた者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者										
	・職員手当等(時間外勤務手当) 7千円				③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者と同じ事情にある者										
	・需用費(消耗品費、印刷製本費) 67千円														
・役務費(通信運搬費、払込料金取扱手数料) 232千円															
・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 279千円															
○過年度国庫支出金返還金 15,542千円															
・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金															
参考	繰越明許費を除いた最終予算額			69,701千円		成果・課題									
	実質的な予算執行率			99.5%											
■令和5年度への繰越事業															
・子育て世帯生活支援特別給付金等(令和5年10月完了予定) 101千円															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 23,666千円	最終予算額 23,668千円	不用額 2千円	執行率	部 健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費				99.9 %	
	目	03 児童福祉措置費				(参考)当初予算額	課 生活福祉課
	事業	05 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業				0千円	
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源				
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」の国庫補助金について、実績精算により返還する。						
主要な事務・事業の概要	○過年度国庫支出金返還金 23,666千円 ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費国庫補助金 22,250千円 ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費国庫補助金 1,416千円						
	成果・課題	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金の国庫補助金について、実績精算により返還した。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 958千円	最終予算額 3,211千円	不用額 2,253千円	執行率	部 健康長寿福祉部			
	項	02 児童福祉費				29.8 %				
	目	03 児童福祉措置費				(参考)繰越予算額				
	事業	05 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（繰越）				3,211千円				
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国補	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業補助金（10/10）		958千円				
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、臨時特別給付金を支給する。			主な財源						
主要な事務・事業の概要	○子育て世帯への臨時特別給付金 支給人数：10人 支給額：対象児童1人につき10万円 ※離婚により、令和3年9月分の児童手当受給者でなかったものの、それ以降に新たに養育者となり、令和4年1月分の児童手当受給者になっている者で、給付金を受給した前養育者から給付金の一部を受け取っていたり、児童のために費消されている場合は、その額を差し引いた額を支給		950千円	【支給対象者】						
	○事務経費内訳 ・通信運搬費、払込料金取扱手数料		8千円	<table border="1"> <tr> <td>給付額</td> <td>対象児童1人につき10万円（※児童手当と同様の所得制限あり）</td> </tr> <tr> <td>対象児童</td> <td>平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童</td> </tr> </table> <p>①中学生まで：原則申請不要 公務員や、児童と保護者が同居でない場合などは申請が必要</p> <p>②高校生など：原則申請必要 中学生までの兄弟・姉妹と同居し、保護者が直近の児童手当の受給者の場合は申請不要</p>				給付額	対象児童1人につき10万円（※児童手当と同様の所得制限あり）	対象児童
給付額	対象児童1人につき10万円（※児童手当と同様の所得制限あり）									
対象児童	平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童									
			成果・課題	給付金を支給することで、コロナ禍における子育て世帯を支援することができた。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	03 生活保護費	116,378千円	119,376千円	2,998千円	97.4%				
	目	01 生活保護総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	02 生活保護運営管理事業				16,099千円				
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進					国負	生活困窮者自立支援負担金(3/4)			4,138千円
目的	生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運営する。		国補	生活困窮者自立支援補助金(1/2、2/3、3/4、10/10)			3,884千円			
			諸収入	一時支援資金貸付金元金収入			420千円			
主要な事務・事業の概要	生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。		主な財源							
	○会計年度任用職員任用経費(3人)	5,987千円								
	・就労支援員(1人 週4日28時間勤務)									
	・健康管理支援員(1人 週3日21時間勤務)									
	・面接相談員(1人 週4日28時間勤務)									
	○生活保護申請者への一時支援資金貸付金(17件)	420千円								
	○生活保護システムサービス利用料	2,983千円								
	○医療扶助適正実施経費 (レセプト点検委託料、レセプト管理システムサービス利用料)	608千円								
	○医療扶助・介護扶助審査手数料	329千円								
	○過年度国庫支出金返還金(生活保護費負担金等)	102,519千円								
○生活保護訪問支援システム導入経費(6台)	2,022千円									
○その他の経費 (生活保護嘱託医報酬、旅費、需用費ほか)	1,510千円									
参考	※保護率=被保護人員/京丹後市人口、単位は1/1,000の%。(各年度3月末現在)									
	繰越明許費を除いた最終予算額						116,626千円			
成果・課題	実質的な予算執行率						99.7%			
	■令和5年度への繰越事業 生活保護医療扶助オンライン資格確認システム改修事業 (令和6年3月完了予定)						2,750千円			
○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営ができた。 ○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。 ○新たに導入した生活保護訪問支援システムにより、被保護者との面談において、援助方針や保護費の確認が可能となり、面談内容を充実させること、また、訪問記録の時間削減等業務効率が向上した。										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 675,724千円	最終予算額 676,715千円	不用額 991千円	執行率	部 健康長寿福祉部						
	項	03 生活保護費				99.8 %							
	目	02 生活保護扶助費				(参考)当初予算額							
	事業	01 生活保護費支給事業				772,541千円							
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負	生活保護費負担金 (3/4)	546,077千円							
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立を支援する。			府負	生活保護費負担金 (府費負担となる扶助費支給額の1/4)	1千円							
				諸収入	生活保護費返還金	2,874千円							
				諸収入	生活保護費徴収金	98千円							
			諸収入	生活保護費認定徴収金	229千円								
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。			○扶助費 675,724千円									
	【生活保護世帯の状況】 ※各年度末の数値 (単位：世帯、人)			【生活保護費の支給状況】 (単位：千円)									
			H30	R元	R2	R3	R4						
	峰山	世帯数	107	108	113	114	108	生活扶助費	180,842	180,701	176,973	167,413	160,444
		人数	150	153	157	150	146	住宅扶助費	87,911	87,059	90,133	88,957	83,425
	大宮	世帯数	54	58	57	59	64	教育扶助費	4,655	4,236	3,209	2,458	2,151
		人数	79	77	75	76	76	介護扶助費	17,581	17,288	18,997	14,797	14,297
	網野	世帯数	114	118	112	106	97	医療扶助費	418,467	441,545	471,788	428,045	403,542
		人数	154	159	153	145	144	生業扶助費	3,951	4,225	4,429	4,156	4,602
	丹後	世帯数	28	27	24	23	23	施設事務費	6,239	5,792	4,317	3,473	6,011
人数		42	40	36	34	33	葬祭扶助費等	2,540	2,368	2,173	2,880	1,252	
弥栄	世帯数	25	26	25	25	24	合計	722,186	743,214	772,019	712,179	675,724	
	人数	41	41	38	33	32	成果・課題 ○経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。 ○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。						
久美浜	世帯数	38	39	33	33	40							
	人数	60	55	42	40	57							
合計	世帯数	366	376	364	360	356							
	人数	526	525	501	478	488							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	881千円	918千円	37千円	(参考)当初予算額	918千円	95.9%				
	目	01 保健衛生総務費						課	健康推進課			
	事業	02 保健センター管理運営事業										
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源									
目的	乳幼児健診、総合検診、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センターを適切に管理し、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。											
主要な事務・事業の概要	保健センター（大宮・網野）の管理を適切に行った。											
	<ul style="list-style-type: none"> ○大宮保健センター（利用件数：14件、利用人数：285人） <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費（ガス） ○網野保健センター（利用件数：25件、利用人数：430人） <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費（ガス） ・光熱水費（電気・水道） ・施設修繕費 ・火災保険料 ・施設清掃委託料 ○丹後保健センター（利用件数：5件、利用人数：65人） <ul style="list-style-type: none"> ※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出 	<ul style="list-style-type: none"> 32千円 32千円 847千円 25千円 620千円 51千円 4千円 147千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○弥栄保健センター（利用件数：5件、利用人数：82人） <ul style="list-style-type: none"> ※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出 ○久美浜保健センター（利用件数：10件、利用人数：175人） <ul style="list-style-type: none"> ※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出 ○保健センター管理経費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 	<ul style="list-style-type: none"> 2千円 2千円 								
			成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、健康増進の拠点として貢献することができた。								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 保健衛生費						372千円	589千円	217千円	(参考)当初予算額	63.1 %
	目	01 保健衛生総務費										健康推進課
	事業	03 自殺対策事業										589千円
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		府補	自殺対策事業補助金 (5/6、1/2)		207千円						
目的	「第2次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロを目指し、地域の中で悩んでいる人に気づき、見守る支援者を養成するとともに、普及啓発、自殺未遂者・自死遺族支援等の自殺対策の取組を推進する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域におけるネットワークの強化 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会（7月12日実施） 京丹後市自殺ゼロ推進連絡会議（6月2日実施） 自殺対策を支える人材の育成 こころ・いのち・つなぐ手研修会（ゲートキーパー研修会） 年6回、延べ参加者124人 市民への啓発と周知 啓発グッズの窓口配架：市民局・公民館・商業施設等 延べ2回 580部 商業施設での街頭啓発：3月の自殺対策強化月間に実施 配布数 200部 こころの健康づくり講演会（9月10日） 会場参加 29人 オンライン参加 11人（ハイブリットで実施） 生きるための相談、支援体制の充実、関係機関との連携 こころの健康相談日：月1回 実相談者数 13人 延べ相談者数 39人 児童、生徒への自殺対策の推進 SOSの出し方や相談窓口を掲載したクリアファイル及びリーフレットを作成・配付 小6、中3、高3年生 計1,171人 自殺未遂者・自死遺族の支援 自殺未遂者・自死遺族への支援等窓口を記載したリーフレットを作成し市内の医療機関・警察や消防署等へ配架 			<ul style="list-style-type: none"> ○京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会 11千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 11千円 ○こころ・いのち・つなぐ手養成講座（ゲートキーパー養成講座） 182千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費（講師謝金、費用弁償） 138千円 ・消耗品費 44千円 ○市民への啓発と周知（街頭啓発・講演会など） 80千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 63千円 ・印刷製本費 17千円 ○若年層支援事業 59千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（相談窓口入りクリアファイル・相談一覧チラシ） 59千円 ○自殺未遂者・自死遺族支援 40千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 40千円 								
	成果・課題	<p>○3月の自殺対策強化月間に、街頭啓発を実施した。</p> <p>○自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため実施している「こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会」では、中級講座を実施して傾聴ボランティアなど、地域で見守る支援者を養成・育成することができた。</p> <p>○令和4年の自殺者数は令和3年より1人増加し12人であった。今後も自殺ゼロを目指し調査・分析を継続し、自殺対策を総合的に実施していく必要がある。</p>										

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 保健衛生費							365千円	365千円	0千円	100.0%
	目	01 保健衛生総務費										(参考)当初予算額
	事業	04 健康増進計画策定事業										343千円
課	健康推進課											
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源									
目的	第3次健康増進計画（令和4年度～令和8年度）の冊子を作成・配付し、市民及び関係機関への周知を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>令和4年3月（令和3年度）に策定した「第3次京丹後市健康増進計画」の冊子及び概要版の作成・配付を行った。概要版については、本計画を広く市民へ周知し、市民自ら健康づくりを積極的に進めることができるよう、全戸配付した。</p> <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 365千円 （健康増進計画計画書 200冊、概要版 21,000冊） 											
	成果・課題	概要版を作成し全戸配付することで、本計画の概要を広く市民へ周知し、自身の健康づくりを進めてもらう指標ができた。今後は、より具体的な健康づくりの実践ができるよう働きかけを行う必要がある。										

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 保健衛生費	12,371千円	12,371千円	0千円	100.0%																				
	目	01 保健衛生総務費				(参考)当初予算額	課	健康推進課																		
	事業	05 新型コロナウイルス感染症支え合い基金				2千円																				
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 新型コロナウイルス感染症支え合い基金利子収入 66千円 寄附金 ふるさと応援寄付金 12,305千円																						
目的	新型コロナウイルス感染症による市民生活、経済活動への影響に対し、感染症予防対策及び地域経済対策等に資することを目的に設置した「新型コロナウイルス感染症支え合い基金」への積立金																									
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス感染症支え合い基金積立金 12,371千円 ・ふるさと応援寄付金663件分 12,305千円 ・運用利子分 66千円		【参考】令和4年度活用額：78,100千円 主な活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ放送難聴地域解消事業支援補助金（R5繰越事業） 39,000千円 ・消費喚起ポイント事業補助金等 18,000千円 ・庁舎ICT環境整備（無線環境整備等）経費 8,000千円 ・地域活性化起業人受入事業負担金 4,500千円 ・事業所等感染症対策緊急支援補助金 3,300千円 ・マイナンバーカード対応申請書自動作成システム導入経費等 1,500千円 ・中小企業緊急雇用調整助成金 1,000千円 ・その他5事業 2,800千円 																							
	(参考)基金の状況 (単位：千円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高</th> <th colspan="3">令和4年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和4年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>運用利子</th> <th>積立金</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①-②+③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>191,179</td> <td>78,100</td> <td>66</td> <td>12,305</td> <td>125,450</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度末 現在高	令和4年度中増減額			令和4年度末 現在高	繰入金	運用利子	積立金	①	②	③	④	①-②+③+④	191,179	78,100	66	12,305	125,450	成果・課題					
令和3年度末 現在高	令和4年度中増減額			令和4年度末 現在高																						
	繰入金	運用利子	積立金																							
①	②	③	④	①-②+③+④																						
191,179	78,100	66	12,305	125,450																						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	17,410千円	17,523千円	113千円	(参考)当初予算額	99.3%					
	目	01 保健衛生総務費					15,595千円	課	健康推進課			
	事業	50 保健衛生総務一般経費										
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	新型ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｳﾝｽﾞ接種体制確保事業費補助金 (10/10)	57千円						
		府補		骨髄ﾄﾞﾅｰ助成事業補助金 (1/2)	70千円							
		諸収入		後期高齢者医療保健事業委託金	322千円							
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な会計年度任用職員任用経費、研修旅費、各種負担金などの経費を支出することにより、市民の健康の増進を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>会計年度任用職員（保健師）の任用、各種研修・研修会等への参加及び旧丹後保健センター（書庫・倉庫として使用）の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修旅費（保健師協議会、新人保健師研修会等） 84千円 ○骨髄ﾄﾞﾅｰ助成金（1件） 140千円 ○旧丹後保健センター維持管理経費 23千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費（電気代） 5千円 ・火災保険料 4千円 ・消防設備等保守点検委託料 14千円 ○予防接種健康被害調査委員会（報酬、旅費等） 58千円 <ul style="list-style-type: none"> ・開催：2回（Zoom併用）、請求：4件 ○消耗品費 132千円 ○会計年度任用職員任用経費（保健師5人） 12,199千円 <ul style="list-style-type: none"> ・産休育休代替保健師報酬、期末手当、交通費、保険料等 				<ul style="list-style-type: none"> ○負担金 1,873千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府栄養士会負担金 29千円 ・京都府市町村保健師協議会負担金 37千円 ・市町村栄養士研究会負担金 4千円 ・健康管理システム共同利用負担金 1,781千円 ・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 22千円 ○返還金 2,901千円 <ul style="list-style-type: none"> ・過年度母子保健衛生費国庫補助金返還金 459千円 ・過年度感染症予防事業等国庫補助金返還金 880千円 ・過年度長寿・健康増進事業費補助金返還金 1,562千円 							
				成果・課題	<p>○保健事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○研修会等への参加により、専門職である保健師や栄養士に必要な知識を得ることができた。</p>							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部														
	項	01 保健衛生費	515千円	628千円	113千円	82.0%																
	目	02 保健対策費				(参考)当初予算額	課	健康推進課														
	事業	01 健康づくり・食育推進事業				761千円																
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		府補	健康増進事業費等補助金(2/3)		46千円																
			府補	食料産業・6次産業化交付金(1/2以内)		127千円																
目的	健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。		主な財源																			
主要な事務・事業の概要	＜食育推進事業＞		306千円		＜健康づくり事業＞		209千円															
	①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」				○健康づくり推進員事業(健康づくり推進員の育成・活動支援)																	
	○食改員の育成及び研修 各支部研修6回+全体研修1回				・健康づくり推進員活動謝金(3千円×43人)		129千円															
	・講師謝金		10千円		・通信運搬費(研修会等案内郵送代)		25千円															
	・消耗品費(研修会材料代等)		52千円		・消耗品費		7千円															
	・会場使用料		1千円		*第7期健康づくり推進員人数(任期:令和6年3月31日まで)																	
	○食改員による地域での伝達講習会(コロナ感染拡大防止のため中止)				<table border="1"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>16人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>44人</td> </tr> </table>		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	16人	4人	6人	7人	6人	5人	44人		
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計															
	16人	4人	6人	7人	6人	5人	44人															
	○子どもクッキング(小学校低学年1回 6人・高学年1回 4人)				※1人病休																	
・栄養士謝金		12千円		○歩いてすすめる健康づくり(Let'sチャレンジウォーキングの開催)																		
・消耗品費(案内用紙代)		3千円		参加者延べ431人(チャレンジカード343人、ウォーキングアプリ88人)																		
②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」				・印刷製本費(チャレンジカード500枚)		32千円																
○食文化伝承推進事業(各小中学校 16回 392人)				・消耗品費(アプリチラシ用紙代)		16千円																
・食生活改善推進員謝金		192千円																				
○食育推進ネットワーク(関係機関・13団体、庁内7課で構成)				成果・課題																		
・通信運搬費(会議案内代)		1千円		○学校・地域における食育の普及啓発や市民の食育支援は、コロナ禍ではあったが、学校等と感染症拡大防止対策を検討し、実施校を拡大できた。																		
○お魚料理教室(小学校5年生 4回 参加者40人)【所管:海業水産課】				○健康づくり推進員活動は、コロナ禍のため規模縮小とし、Let'sチャレンジウォーキングに取り組んだ。今後、より幅広い年齢層の参加を促進するための取組を検討する必要がある。																		
・消耗品費(材料代他)		35千円		○Let'sチャレンジウォーキングについては、明治安田生命との協定によりウォーキングアプリを導入することができた。																		

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	01 保健衛生費	1,884千円	1,895千円	11千円	99.4 %																									
	目	03 母子保健費				(参考)当初予算額	課	健康推進課																							
	事業	01 不妊・不育症治療費助成事業				1,535千円																									
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		府補		不妊治療給付事業助成費補助金（1/2）		747千円																								
目的	少子化対策の一環として、不妊・不育症治療を受けている夫婦に対して、治療費用の一部を助成することにより、安心して治療が受けられる環境を整える。		主な財源																												
主要な事務・事業の概要	○不妊・不育症治療費助成事業		1,494千円		○特定不妊治療通院交通費助成		390千円																								
	対象者：府内に1年以上居住し、かつ本市に住所を有する夫婦				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>12人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>15件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>150千円</td> <td>390千円</td> </tr> </table>			R3	R4	実人数	12人	15人	件数	15件	39件	助成金額	150千円	390千円													
		R3	R4																												
	実人数	12人	15人																												
件数	15件	39件																													
助成金額	150千円	390千円																													
治療対象：① 不妊治療（医療保険適応の治療（一般不妊・特定不妊）、先進医療）				※令和3年度から特定不妊治療にかかる通院交通費助成を開始。																											
② 不育治療（ヘパリン注射、不育症の原因検査）																															
① 不妊治療費助成																															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>23人</td> <td>28人</td> <td>42人</td> <td>34人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>35件</td> <td>40件</td> <td>55件</td> <td>49件</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>580千円</td> <td>930千円</td> <td>1,663千円</td> <td>1,157千円</td> <td>1,469千円</td> </tr> </table>			H30	R元	R2	R3	R4	実人数	23人	28人	42人	34人	38人	件数	35件	40件	55件	49件	48件	助成金額	580千円	930千円	1,663千円	1,157千円	1,469千円						
	H30	R元	R2	R3	R4																										
実人数	23人	28人	42人	34人	38人																										
件数	35件	40件	55件	49件	48件																										
助成金額	580千円	930千円	1,663千円	1,157千円	1,469千円																										
※令和4年度から先進医療も助成対象（上限100千円/年度）																															
（R4内数：実人数 6人、件数 7件、助成金額 165千円）																															
② 不育治療費助成																															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>91千円</td> <td>6千円</td> <td>14千円</td> <td>0千円</td> <td>26千円</td> </tr> </table>			H30	R元	R2	R3	R4	実人数	2人	1人	2人	0人	4人	件数	3件	1件	2件	0件	4件	助成金額	91千円	6千円	14千円	0千円	26千円						
	H30	R元	R2	R3	R4																										
実人数	2人	1人	2人	0人	4人																										
件数	3件	1件	2件	0件	4件																										
助成金額	91千円	6千円	14千円	0千円	26千円																										
成果・課題							○不妊・不育症治療を受ける夫婦に対し、治療に係る費用負担を軽減することができた。 ○令和4年度から特定不妊治療が保険適用となり、新たに保険適用外の先進医療も助成対象となったため、申請件数・助成金額が増加した。 ○令和3年度から特定不妊治療にかかる通院交通費の助成制度を開始したが、京都府と連携して制度の周知に努める必要がある。																								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																					
	項	01 保健衛生費							11,477千円	11,813千円	336千円	97.1%																																	
	目	03 母子保健費										(参考)当初予算額																																	
	事業	02 母子健康支援事業										12,271千円																																	
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金(1/2)	649千円																																							
目的	子育て期間を通じて、乳幼児健康診査事業、むし歯予防事業、離乳食教室を実施することにより、乳幼児の疾病や障害の早期発見・早期治療・早期療育を促し、子どもの健やかな成長発達を支援するとともに、保護者の育児不安の解消と虐待防止を図る。			府補	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金(1/2)	957千円																																							
			府補	きょうと地域連携交付金(乳幼児健康診査事業)	2,000千円																																								
主要な事務・事業の概要	○乳幼児健康診査事業 10,506千円			○離乳食教室 35千円																																									
	<p>4か月、10か月、1歳8か月、2歳6か月、3歳の時期に、健康診査、歯科健康診査及び保健指導を実施し、虐待予防を含めた乳幼児の健やかな成長・発達を促す支援を、また、3歳児健診では新規に屈折検査を導入し、屈折異常の早期発見につなげた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>対象者数</th> <th>実施回数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月児</td> <td>297人</td> <td>22回</td> <td>295人</td> <td>99.3%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>10か月児</td> <td>281人</td> <td>23回</td> <td>280人</td> <td>99.6%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児</td> <td>333人</td> <td>27回</td> <td>332人</td> <td>99.7%</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>2歳6か月児</td> <td>399人</td> <td>30回</td> <td>392人</td> <td>98.2%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>282人</td> <td>24回</td> <td>277人</td> <td>98.2%</td> <td>99.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未受診者の多くは翌年度に受診しており、その他は保健師が個別にフォローしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 423千円 ・医薬材料費 44千円 ・印刷製本費 45千円 ・修繕料 7千円 ・会計年度任用職員任用経費(歯科衛生士) 988千円 ・謝金 小児科医(96回)、歯科医(84回) 7,501千円 ・備品購入費(屈折検査機器1台) 1,298千円 ・案内郵送料 152千円 ・費用弁償 33千円 ・計量器検定手数料 15千円 			対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率	4か月児	297人	22回	295人	99.3%	100%	10か月児	281人	23回	280人	99.6%	100%	1歳8か月児	333人	27回	332人	99.7%	99.7%	2歳6か月児	399人	30回	392人	98.2%	98.9%	3歳児	282人	24回	277人	98.2%	99.0%	<p>集団教室は中止、1対1の個別相談と2~3組でのグループ相談計16回、延べ90人実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(指導パンフレット) 10千円、案内郵送料25千円 			○むし歯予防事業 66千円		
対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率																																								
4か月児	297人	22回	295人	99.3%	100%																																								
10か月児	281人	23回	280人	99.6%	100%																																								
1歳8か月児	333人	27回	332人	99.7%	99.7%																																								
2歳6か月児	399人	30回	392人	98.2%	98.9%																																								
3歳児	282人	24回	277人	98.2%	99.0%																																								
			○新生児聴覚スクリーニング検査助成(新規) 870千円																																										
			<ul style="list-style-type: none"> ・委託料(247件) 804千円 ・扶助費(18件) 66千円 																																										
			成果・課題			<p>○乳幼児健康診査はコロナ禍ではあるが、小児科医・歯科医・歯科衛生士の協力のもと感染対策を講じ、個別対応を中心として実施することができた。</p> <p>○離乳食教室は、集団指導から個別指導やグループ指導に変更して実施し、個別に丁寧な助言を行うことで、不安の解消を図ることができた。</p> <p>○むし歯保有率は年々改善しているが、全国や府と比べ高い傾向にあり、全こども園・保育所及び小学校でのフッ化物洗口を継続して取り組む必要がある。</p> <p>○新生児聴覚スクリーニングでは、助成制度事業と並行し、精密検査医療機関との連携も構築され、スクリーニング後のフォロー体制が明確になった。</p>																																							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	25,540千円	26,419千円	879千円	(参考)当初予算額	27,181千円	96.6 %				
	目	03 母子保健費										
	事業	03 妊産婦健康支援事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進									課	健康推進課	
目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査を実施することで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整え、妊産婦の健康づくりを支援する。		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金（1/2）				1,494千円			
				府補	多胎妊婦健康診査支援事業補助金（1/2）				2千円			
			府補	きょうと地域連携交付金（妊産婦健康診査事業）				6,000千円				
主要な事務・事業の概要	○妊婦健康診査事業 23,120千円 安全・安心に出産を迎えるため、妊婦健康診査費用を助成。 ※妊婦健康診査受診券綴交付者数：280人（内転入14人） <ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査委託料 22,260千円 妊婦健康診査助成金（里帰り受診）件数：20件 501千円 消耗品費（母子健康手帳購入ほか） 99千円 印刷製本費（受診券綴印刷代） 260千円 		○産婦健康診査事業 1,972千円 産後うつ予防、新生児への虐待予防等を図るため、産婦が受診する健康診査（産後2週間目、産後1か月目の2回分）の費用の一部を負担。 ※産婦健康診査受診件数：371件（実人数275人） <ul style="list-style-type: none"> 産婦健康診査委託料 1,855千円 産婦健康診査助成金（里帰り出産）件数：20件 117千円 									
	○妊婦歯科健康診査事業 448千円 妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用を助成。 ※妊婦歯科健康診査受診者数：123人 <ul style="list-style-type: none"> 妊婦歯科健康診査委託料 438千円 妊婦歯科健康診査助成金（市外受診等）件数：4件 10千円 		成果・課題	○妊婦健康診査及び妊婦歯科健康診査事業を実施することで、妊婦の健康づくり及び安心・安全な出産に寄与することができた。 ○産婦健康診査事業の実施により、産後の健康管理及び早期支援の充実を図ることができた。 ○令和4年度から検査費用を全額公費負担としたことにより、受診者数が増えている中、妊婦歯科健康診査の重要性について、母子健康手帳交付時をはじめ、子育てLINEや妊婦健診時など様々な機会を通じて啓発に努める必要がある。								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額 393千円	最終予算額 497千円	不用額 104千円	執行率	部 健康長寿福祉部																										
	項	01 保健衛生費				79.0%																											
	目	03 母子保健費				(参考)当初予算額																											
	事業	04 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業				497千円																											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	46千円																											
目的	発達障害等により集団生活に困り感のある幼児の早期発見・早期療育の観点から、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう関係機関と連携し、支援体制を構築する。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	23千円																											
				府補	発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金(1/2)	80千円																											
主要な事務・事業の概要	<p>こども園、保育所に通う4歳児の保護者を対象に、幼児期後半の子どもの発達と対応についての文書を配付した。 問診票に基づく一次スクリーニングと園巡回による行動観察の結果、要支援判定児については、個々に応じた事後支援を行った。</p> <p>実施施設：14施設 実施園児数：346人</p> <p>(1) 一次スクリーニング 問診票から抽出された幼児を対象にスクリーニング(18回)</p> <p>(2) 事後支援 ① 園巡回支援(延べ25回) ② 発達支援相談員による子育て相談(延べ22人)</p> <p>〈判定結果〉</p> <table border="1"> <tr><td>問題なし</td><td>154人</td><td>44.5%</td></tr> <tr><td>園支援</td><td>106人</td><td>30.6%</td></tr> <tr><td>要支援</td><td>54人</td><td>15.6%</td></tr> <tr><td>管理中</td><td>32人</td><td>9.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>346人</td><td></td></tr> </table>			問題なし	154人	44.5%	園支援	106人	30.6%	要支援	54人	15.6%	管理中	32人	9.3%	合計	346人		<p>〈事後支援の結果(158人)〉</p> <table border="1"> <tr><td>発達支援相談員による子育て相談</td><td>22人</td></tr> <tr><td>発達相談・クリニック</td><td>61人</td></tr> <tr><td>保健師面接・電話相談</td><td>38人</td></tr> <tr><td>療育教室での対応</td><td>27人</td></tr> <tr><td>ほめ方教室での対応</td><td>1人</td></tr> <tr><td>医療機関における医学的対応</td><td>9人</td></tr> </table> <p>※重複あり</p> <p>○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬 369千円 ○旅費(発達支援相談員費用弁償) 9千円 ○需用費(問診票・パンフレット用色上質紙ほか) 15千円</p>			発達支援相談員による子育て相談	22人	発達相談・クリニック	61人	保健師面接・電話相談	38人	療育教室での対応	27人	ほめ方教室での対応	1人	医療機関における医学的対応	9人
				問題なし	154人	44.5%																											
				園支援	106人	30.6%																											
				要支援	54人	15.6%																											
管理中	32人	9.3%																															
合計	346人																																
発達支援相談員による子育て相談	22人																																
発達相談・クリニック	61人																																
保健師面接・電話相談	38人																																
療育教室での対応	27人																																
ほめ方教室での対応	1人																																
医療機関における医学的対応	9人																																
			成果・課題	<p>○支援の必要な幼児について、保護者、保育者、専門機関と連携し、早期支援を行い、専門相談等につなぐことができた。 ○切れ目のない支援が就学後も継続していけるように、今後も関係者、関係機関が連携を図り、こども園、保育所におけるより良い支援の在り方、支援体制の構築に努めていく必要がある。</p>																													

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 保健衛生費							34,304千円	34,935千円	631千円	98.1 %
	目	03 母子保健費										(参考)当初予算額
	事業	06 出産・子育て応援給付金支給事業										0千円
課	健康推進課											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,451千円						
目的	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援の拡充を図るとともに、出産・子育て給付金の支給を一体的に実施する。			国補	出産・子育て応援交付金（2/3）	16,241千円						
				府補	出産・子育て応援交付金（1/6）	4,060千円						
主要な事務・事業の概要	令和4年4月1日以降、妊娠の届出をした妊婦及び出生した児童を養育する者に対して、出産・子育て応援給付金を給付した。また、妊娠の届出時、出産を間近に控えた妊娠8か月頃の妊婦並びに出生した養育者に対し、面談を実施し、妊婦・子育て世帯に寄り添った支援を行った。											
	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員任用経費（助産師1人） 132千円 ○消耗品費 20千円 ○印刷製本費 4千円 ○通信運搬費 33千円 ○手数料（払込料金取扱手数料） 15千円 ○出産・子育て応援給付金 34,100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・出産応援給付金（5万円/人） 419人 20,950千円 ・子育て応援給付金（5万円/人） 263人 13,150千円 											
				成果・課題	面談等を通して妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型の相談支援と併せて、出産・子育て給付金の支給を一体的に実施し、妊婦・子育て世帯に寄り添った支援を行うことができた。							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 保健衛生費							1,162千円	1,270千円	108千円	91.4 %
	目	04 健康推進費										(参考)当初予算額
	事業	01 健康相談・指導事業										1,270千円
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		府補	健康増進事業費等補助金 (2/3)			163千円					
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	健康相談・保健及び栄養指導を実施し、市民の健康増進や疾病予防を推進した。											
	○検診結果報告会	1,093千円										
	実施期間：令和4年6月29日～令和4年10月6日（41日間）											
	6会場、施設及び健康推進課窓口で、992人に個別指導を実施。											
	・消耗品費（用紙、パンフレット等）	97千円										
・印刷製本費（各種封筒等）	146千円											
・通信運搬費（結果郵送代）	850千円											
○生活習慣病重症化予防対策事業（対象者数144人）	7千円											
・消耗品費（用紙等）	5千円											
・通信運搬費	2千円											
○骨密度測定器を活用した個別健康相談（7人）												
・消耗品費	33千円	成果・課題	○結果報告会は、検診結果に基づく対象者を個別に時間設定して行い、確実に生活習慣病予防、重症化予防に係る保健・栄養指導が実施できた。 ○要医療判定の方、がん検診要精密検査の方には受診勧奨を行い、受療行動につながった。 ○総合検診受診者のうち対象者に歯科指導・歯科についてのリーフレットを郵送し、歯周疾患についての普及啓発を実施した。									
○歯周疾患予防事業												
・消耗品費等（パンフレット等）	29千円											

予算科目	款	O4 衛生費			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																			
	項	O1 保健衛生費			109,106千円	109,180千円	74千円	99.9%																																																					
	目	O4 健康推進費						(参考)当初予算額	課	健康推進課																																																			
	事業	O3 総合検診事業						122,049千円																																																					
基本計画	O8 生涯にわたる体とこころの健康づくり				主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金(1/2)		13千円																																																				
目的	がんや疾病を早期発見するとともに、健康意識の向上や生活習慣の改善につなげることで、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。					府補	健康増進事業費等補助金(1/2又は10/10)		2,616千円																																																				
						繰入金	再編交付金事業基金繰入金		20,000千円																																																				
						諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金		7,043千円																																																				
					諸収入	京都府後期高齢者医療制度特別対策補助金		83千円																																																					
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診を同時に受けることのできる総合検診として、地域の体育館等で実施した。					○事業費					109,106千円																																																		
	【実施期間】 令和4年5月17日～8月19日(11会場:38日)					・消耗品費(資料用紙代、パンフレットなど)					49千円																																																		
	【検診項目及び受診者数】					・燃料費(送迎車ガソリン代)					2千円																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検診項目</th> <th>対象者</th> <th>R4受診者</th> <th>R3受診者</th> <th>R2受診者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査</td> <td>20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者</td> <td>2,513人</td> <td>2,433人</td> <td>2,334人</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>2,837人</td> <td>2,937人</td> <td>2,704人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>6,968人</td> <td>6,989人</td> <td>6,394人</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>6,901人</td> <td>6,893人</td> <td>6,303人</td> </tr> <tr> <td>結核検診</td> <td>65歳以上</td> <td>4,526人</td> <td>4,501人</td> <td>4,113人</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>20歳以上2年に1回</td> <td>2,413人</td> <td>2,584人</td> <td>2,229人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>40歳以上2年に1回</td> <td>2,541人</td> <td>2,750人</td> <td>2,406人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>55歳以上2年に1回</td> <td>620人</td> <td>838人</td> <td>965人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検査</td> <td>40歳以上1回のみ</td> <td>492人</td> <td>472人</td> <td>330人</td> </tr> </tbody> </table>					検診項目	対象者	R4受診者	R3受診者	R2受診者	健康診査	20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者	2,513人	2,433人	2,334人	胃がん検診	40歳以上	2,837人	2,937人	2,704人	大腸がん検診	40歳以上	6,968人	6,989人	6,394人	肺がん検診	40歳以上	6,901人	6,893人	6,303人	結核検診	65歳以上	4,526人	4,501人	4,113人	子宮頸がん検診	20歳以上2年に1回	2,413人	2,584人	2,229人	乳がん検診	40歳以上2年に1回	2,541人	2,750人	2,406人	前立腺がん検診	55歳以上2年に1回	620人	838人	965人	肝炎ウイルス検査	40歳以上1回のみ	492人	472人	330人	・印刷製本費(申込書、案内封筒、検診案内チラシ)					306千円
	検診項目	対象者	R4受診者	R3受診者	R2受診者																																																								
	健康診査	20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者	2,513人	2,433人	2,334人																																																								
	胃がん検診	40歳以上	2,837人	2,937人	2,704人																																																								
	大腸がん検診	40歳以上	6,968人	6,989人	6,394人																																																								
	肺がん検診	40歳以上	6,901人	6,893人	6,303人																																																								
	結核検診	65歳以上	4,526人	4,501人	4,113人																																																								
子宮頸がん検診	20歳以上2年に1回	2,413人	2,584人	2,229人																																																									
乳がん検診	40歳以上2年に1回	2,541人	2,750人	2,406人																																																									
前立腺がん検診	55歳以上2年に1回	620人	838人	965人																																																									
肝炎ウイルス検査	40歳以上1回のみ	492人	472人	330人																																																									
					・通信運搬費(申込書、受診票、精検未受診者勧奨通知)					1,530千円																																																			
					・検診委託料					107,218千円																																																			
					・駐車場使用料					1千円																																																			
					成果・課題	○検診会場については、3密を防ぎ、手指消毒の徹底など、新型コロナウイルス感染対策に努め、安心して検診が受けられるよう環境整備を行った。																																																							
						○要精密検査者には、個別面談や電話での受診確認、書面による受診勧奨を行った。																																																							
					○今後も効果的な受診勧奨を検討し、総合検診及びがん検診の受診者の増加を目指すとともに、がん検診等精検未受診者への個別受診勧奨を継続し、疾病の早期発見、早期治療に繋がるよう努める必要がある。																																																								
※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上																																																													
※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上																																																													

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額 64千円	最終予算額 183千円	不用額 119千円	執行率	部 健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費				34.9 %	
	目	04 健康推進費				(参考)当初予算額	課 健康推進課
	事業	04 長寿食サミットフォーラム（仮称）開催準備事業				361千円	
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		国補 主な財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	20千円			
目的	「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ」第4版の完成披露会を実施し、本誌を多くの市民に周知する機会を設けることで市民の健康意識の向上を図る。また、「まちの魅力」として広く発信し、市内外の方へ京丹後市のさらなる認知度の向上を図る。						
主要な事務・事業の概要	○「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ」第4版 完成披露会 24千円 実施日：8月21日（日） ※本冊子は、京丹後長寿コホート研究に基づき、京都府立医科大学と京都府立大学の先生方に監修いただいたことから、「第5回京丹後長寿研究報告会」において完成披露を行った。 ・報償費 完成披露会講演 講師謝金 24千円						
	○本冊子の全国販売を実施 40千円 ※全国官報販売協同組合及び京丹後市図書納入組合に販売を委託 ・通信運搬費（配送運賃） 7千円 ・手数料（ISBN・書籍JANコード申請料） 33千円		成果・課題 ○京丹後長寿研究報告会と合わせて完成披露会を実施したことで、冊子の内容をより具体的に知らせることができた。また、腸活レシピ考案者による講演を入れたことで、未来へつないでいくレシピとして紹介することができた。 ○テレビ取材等を通して、市内外の方へ京丹後市の認知度を高めることができた。 ○今後も、市民へ広く周知し、健康意識の向上や食文化伝承を図るため、活用方法の検討を行っていく。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部													
	項	01 保健衛生費						134,707千円	136,782千円	2,075千円	98.4%	課	健康推進課								
	目	05 予防費											166,351千円	(参考)当初予算額							
	事業	01 予防接種事業																			
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金(1/2)	1,133千円															
目的	伝染のおそれがある疾病の発生及び感染予防、発病予防、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。			府補	風しん予防接種事業補助金(1/2)	64千円															
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	70,000千円															
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金	3,600千円															
			諸収入	京都府後期高齢者医療制度特別対策補助金	2,000千円																
主要な事務・事業の概要	○事務経費(需用費、役務費等)		1,236千円		■高齢者インフルエンザ予防接種事業																
	○個別予防接種・検査委託料		129,227千円		<ul style="list-style-type: none"> 自己負担：1,500円(生活保護世帯・非課税世帯は申請により自己負担なし) 対象者：対象者は65歳以上、60～64歳の障害者 																
	○予防接種助成金等給付費		4,244千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象数</th> <th>接種数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,316人</td> <td>10,860人</td> <td>56.2%</td> </tr> </tbody> </table>				対象数	接種数	接種率	19,316人	10,860人	56.2%							
	対象数	接種数	接種率																		
	19,316人	10,860人	56.2%																		
	■子どもの予防接種(対象数、接種数は延べ。口タのみ実人数)(単位：人)				■高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業																
		対象数	接種数	接種率		対象数	接種数	接種率	<ul style="list-style-type: none"> 自己負担：2,000円(生活保護世帯・後期高齢者被保険者は自己負担なし) 対象者：(定期)65歳以上5歳刻み年齢、100歳以上、60～64歳の障害者 												
	BCG	333	276	82.9%	DPT-IPV	1,314	1,072	81.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接種率</th> <th>定期</th> <th>任意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>25.7%</td> <td>0.6%</td> </tr> </tbody> </table>	接種率	定期	任意		25.7%	0.6%						
	接種率	定期	任意																		
		25.7%	0.6%																		
水痘	643	493	76.7%	小児用肺炎球菌	1,232	1,065	86.4%														
ヒブ	1,219	1,066	87.4%	ジフテリア破傷風	726	294	40.5%														
口タ	283	274	96.8%	子宮頸がん	6,226	731	11.7%														
B型肝炎	982	784	79.8%	麻しん	第1期	339	258	76.1%													
日本脳炎	4,576	1,093	23.9%	風しん	第2期	393	365	92.9%													
※子宮頸がん予防接種は、令和4年度から3年間、積極的勧奨が控えられていた平成9～17年度生も公費負担の対象				<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象数</th> <th>接種数</th> <th>検査率</th> <th>要接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>風しん抗体検査</td> <td>4,626人</td> <td>125人</td> <td>2.7%</td> <td>59.2%</td> </tr> <tr> <td>風しん第5期予防接種</td> <td>82人</td> <td>58人</td> <td>70.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				対象数	接種数	検査率	要接種率	風しん抗体検査	4,626人	125人	2.7%	59.2%	風しん第5期予防接種	82人	58人	70.7%	
対象数	接種数	検査率	要接種率																		
風しん抗体検査	4,626人	125人	2.7%	59.2%																	
風しん第5期予防接種	82人	58人	70.7%																		
■風しん追加的対策(実施期間：令和元年度～令和6年度)				成果・課題																	
■妊娠を希望する女性のための風しん予防接種助成金事業(費用の2/3を補助)		接種数：31人		<p>○予防接種法に基づく予防接種であり、接種勧奨を繰り返すことで適正な時期の接種につなげることができた。</p> <p>○乳幼児期に接種する予防接種の種類が増加に伴い、接種スケジュールが複雑・煩雑になっていることから、保護者への丁寧な指導・啓発に努めるとともに、医療機関との情報提供・連携を継続的に行い、適正な接種の実施に努める必要がある。</p>																	

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	16,517千円	16,783千円	266千円	(参考)当初予算額	25,924千円	98.4 %	課	健康推進課		
	目	05 予防費										
	事業	02 感染症予防対策事業										
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		15,628千円					
				繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金		500千円					
				諸収入	買物代行事業商品代		101千円					
目的	新型コロナウイルス感染症対策として、必要な環境を整え、感染防止を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>施設の玄関（出入口）や受付窓口等に手指消毒液やパーテーションを設置するなど、感染症対策を実施した。また、公共施設等の消毒用次亜塩素酸水を生成し、配送した。</p> <p>○感染症対策事業 7,702千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 7,702千円 （サージカルマスク、手指消毒液、ハンドソープ、ペーパータオル、パーテーション等） <p>○次亜塩素酸水生成事業 2,635千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（次亜塩素酸水生成用原液等） 126千円 ・燃料費（配送用公用車ガソリン代） 242千円 ・修繕料（車検整備代） 92千円 ・手数料（自動車登録手数料） 19千円 ・保険料（自賠責保険料、自動車損害保険料） 32千円 ・委託料（生成、配送及び生成装置保守点検業務） 2,119千円 ・公課費（自動車重量税） 5千円 			<p>○広報・周知事業 903千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費（支援策パンフレット全戸配布：21,000部） 506千円 ・印刷製本費（チラシ印刷3回×新聞折込16,900部） 224千円 ・手数料（新聞折込み3回分） 173千円 <p>○感染症対策事業 63千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（市民生活相談窓口フリーダイヤル電話代） 63千円 <p>○自宅療養者買物支援事業 101千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（購入代行23件分） 101千円 <p>○抗原定性検査キット購入支援事業 5,113千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗原定性検査キット助成販売業務委託料 5,113千円 （市内の契約薬局14店で販売している検査キットの購入額の半額を支援） 販売実績：6,111個、支援額：販売金額の半額5,113千円 			<p>成果・課題</p> <p>○公共施設等に、消毒用次亜塩素酸水を配送するとともに、感染症対策物品を購入し感染対策を実施することにより、利用者及び職員の安全・安心を確保しながら業務を継続することができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の買物支援に取り組むことにより、安心して自宅療養できる環境が整備できた。</p> <p>○抗原定性検査キットの購入費用を助成することで、新型コロナウイルス感染症のセルフチェックを促し、医療機関の負担を軽減し、医療提供体制の逼迫を回避することができた。</p>					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部														
	項	01 保健衛生費							276,036千円	277,762千円	1,726千円	99.3 %										
	目	05 予防費										(参考)当初予算額										
	事業	03 新型コロナウイルスワクチン接種事業										86,676千円	課	健康推進課								
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		国負	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 (10/10)		159,357千円																
目的	新型コロナウイルス感染症の発症を予防するため、ワクチン接種を実施する。		主な財源	国補	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 (10/10)		33,849千円															
				諸収入	市外在住者新型コロナウイルスワクチン接種費用負担金		698千円															
主要な事務・事業の概要	<p><ワクチン接種の状況></p> <p>●接種体制</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4回目接種</th> <th>令和4年秋開始接種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者施設等巡回接種</td> <td>R4.6~</td> <td>R4.11~</td> </tr> <tr> <td>集団接種 (弥栄地域公民館)</td> <td>R4.7~</td> <td>R4.10~</td> </tr> <tr> <td>個別接種 (4病院 16診療所)</td> <td>R4.6~</td> <td>R4.9~</td> </tr> </tbody> </table> <p>集団接種実施月 (4月、5月、7月、8月、10月、11月、12月)</p> <p>●取扱ワクチン ファイザー社製/武田・モデルナ社製/武田社製</p> <p>●接種実績 (R5.3月末時点) 4回目: 85.6% 秋開始: 59.1%</p>				4回目接種	令和4年秋開始接種	高齢者施設等巡回接種	R4.6~	R4.11~	集団接種 (弥栄地域公民館)	R4.7~	R4.10~	個別接種 (4病院 16診療所)	R4.6~	R4.9~							
		4回目接種	令和4年秋開始接種																			
	高齢者施設等巡回接種	R4.6~	R4.11~																			
	集団接種 (弥栄地域公民館)	R4.7~	R4.10~																			
個別接種 (4病院 16診療所)	R4.6~	R4.9~																				
<p>○集団接種会場経費 16,880千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員任用経費 (13人) 2,196千円 看護師経費 (20人) 4,744千円 接種委託料 9,397千円 諸経費 (消耗品・廃棄物処理・車いすリース等) 543千円 <p>○個別接種</p> <ul style="list-style-type: none"> 接種委託料 143,224千円 			<p>○コールセンター (会計年度任用職員5人) 8,492千円</p> <p>○Web接種予約システム (システム改修及びシステム利用料) 2,988千円</p> <p>○接種券等郵送関連 15,736千円</p> <p>○新聞折込チラシ経費 (4回) 629千円</p> <p>○接種料支払事務代行手数料 (国保連) 752千円</p> <p>○職員時間外勤務手当 4,195千円</p> <p>○その他消耗品費 1,155千円</p> <p>○過年度国庫支出金返還金 81,985千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 																			
			成果・課題	<p>○ワクチン接種事業を市内で円滑に実施することができ、4回目接種については8割以上、令和4年秋開始接種について約6割を達成した。</p> <p>○特例臨時接種としての位置付けは、令和6年3月末までとなっており、コロナワクチン接種は定期接種となるため、接種費用も有料となる見込み。今後のワクチン接種の有り方について、国の動向を注視し、迅速に対応する必要がある。</p>																		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	01 商工費							5,944千円	6,167千円	223千円	96.3 %
	目	01 商工総務費										(参考)当初予算額
	事業	02 消費生活推進事業										6,167千円
基本計画	11 防犯・交通安全対策の推進	府補	消費者行政活性化事業費補助金（人件費定額、1/2）		3,217千円							
目的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○消費生活相談事業 5,684千円 消費生活専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。 【相談受付件数】 308件（販売購入：269件、その他：39件） 【出前講座実績】 25回（参加588人） うち児童への消費者教育 14回（参加412人） ・報償費（出演謝金、啓発寸劇） 70千円 ・研修旅費等 11千円 ・啓発物品・チラシ作成、参考図書・事務用品等購入費 73千円 ・電話通信料、テレビ受信料 110千円 ・公用車維持管理費（燃料費、修繕費、保険料等） 116千円 ・会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員2人） 5,304千円 報酬 3,608千円 期末手当 716千円 社会保険料、雇用保険料 744千円 費用弁償（通勤費） 236千円			○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円 【会員数（令和5年3月31日現在）】 87人 峰山 16人 大宮 20人 網野 7人 丹後 17人 弥栄 11人 久美浜 16人 【活動内容】 ・各支部啓発活動（41回） 峰山 3回 大宮 3回 網野 3回 丹後 5回 弥栄 4回 久美浜 4回 ・ケーブルテレビを活用した啓発活動（寸劇実施回数 1回） ・消費生活学習会、視察研修等の実施 ※各支部ごとに実施 ・クリーン活動 峰山 0回 大宮 2回 網野 1回 丹後 2回 弥栄 1回 久美浜 2回								
	成果・課題	○専門相談員が、コロナ禍においてもケーブルテレビや地域コミュニティFM等を活用した情報提供の機会を多く作り、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、市民の消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																																											
	項	01 総務管理費							187,397千円	187,397千円	0千円	100.0%																																							
	目	17 諸費										(参考)当初予算額																																							
	事業	07 原油価格・物価高騰対策支援給付金給付事業【再掲】										0千円																																							
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		187,397千円																																												
目的	新型コロナウイルス感染症及び国際情勢等に起因する急激な原油価格の高騰を受け、厳しい経営状況にある市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定を図る。		主な財源																																																
主要な事務・事業の概要	【事業所光熱費対策事業】 事業の用に供する光熱費等（電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油）の10%を交付（上限：法人/300千円、個人/100千円）			○エネルギー価格高騰対策支援給付金 83,138千円																																															
	【運輸車両等燃料費対策事業】 事業用車両の運行に要した燃料費の10%を対象事業用車両で割った額（上限：普通自動車/30千円、小型自動車/25千円、軽自動車/5千円）を交付			対象期間：令和4年11月～令和5年1月 受付期間：令和5年1月～令和5年3月																																															
	○原油価格高騰対策支援給付金 104,259千円 対象期間：令和3年11月～令和4年10月のうち任意に選択した3か月分 受付期間：令和4年8月～令和5年3月			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全体</th> <th colspan="2">内運輸車両等燃料費対策分</th> </tr> <tr> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工振興課</td> <td>972件</td> <td>70,796千円</td> <td>29件</td> <td>8,068千円</td> </tr> <tr> <td>障害者福祉課</td> <td>17件</td> <td>1,411千円</td> <td>8件</td> <td>188千円</td> </tr> <tr> <td>長寿福祉課</td> <td>66件</td> <td>7,528千円</td> <td>21件</td> <td>362千円</td> </tr> <tr> <td>農業振興課</td> <td>115件</td> <td>2,787千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>農林整備課</td> <td>2件</td> <td>463千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>海業水産課</td> <td>7件</td> <td>153千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,179件</td> <td>83,138千円</td> <td>58件</td> <td>8,618千円</td> </tr> </tbody> </table>						全体		内運輸車両等燃料費対策分		交付件数	交付額	交付件数	交付額	商工振興課	972件	70,796千円	29件	8,068千円	障害者福祉課	17件	1,411千円	8件	188千円	長寿福祉課	66件	7,528千円	21件	362千円	農業振興課	115件	2,787千円	0件	0千円	農林整備課	2件	463千円	0件	0千円	海業水産課	7件	153千円	0件	0千円	計	1,179件	83,138千円	58件
	全体		内運輸車両等燃料費対策分																																																
	交付件数	交付額	交付件数	交付額																																															
商工振興課	972件	70,796千円	29件	8,068千円																																															
障害者福祉課	17件	1,411千円	8件	188千円																																															
長寿福祉課	66件	7,528千円	21件	362千円																																															
農業振興課	115件	2,787千円	0件	0千円																																															
農林整備課	2件	463千円	0件	0千円																																															
海業水産課	7件	153千円	0件	0千円																																															
計	1,179件	83,138千円	58件	8,618千円																																															
成果・課題				○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定を図ることができた。 ○長期化しているコロナ禍の影響や国際情勢などにより、原油価格の高騰や資材供給の停滞等、市内事業所の経営には引き続き不安要素が大きいことから、今後も継続的な支援策を検討する必要がある。																																															

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額 1,928千円	最終予算額 2,022千円	不用額 94千円	執行率	部 市民環境部																
	項	01 保健衛生費				95.3 %																	
	目	04 健康推進費				(参考)当初予算額																	
	事業	02 高齢者フレイル予防事業【再掲】				2,450千円																	
基本計画	09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源	諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金	1,368千円																	
目的	国保データベースシステム等のデータ分析を活用するとともに、保健師や管理栄養士などの医療専門職が事業のコーディネートを行うことにより、高齢者の健康課題を明確化させ効果的なフレイル予防を行うことで健康寿命を延伸し、介護予防につなげる。			諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金	291千円																	
主要な事務・事業の概要	<p><個別支援（ハイリスクアプローチ）>【所管：健康推進課】</p> <p>○重症化予防対策（糖尿病性腎症・高血圧症）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>支援率</th> <th>延べ支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重症化予防</td> <td>148人</td> <td>100%</td> <td>218件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○栄養改善推進事業（低栄養）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>支援率</th> <th>延べ支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低栄養</td> <td>94人</td> <td>100%</td> <td>176件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○健康状態不明対策 健康診査未受診・医療レセプトなし・介護認定なしの人の健康状態の把握・支援を実施 対象者数：179人</p>				対象者	支援率	延べ支援件数	重症化予防	148人	100%	218件		対象者	支援率	延べ支援件数	低栄養	94人	100%	176件	<p><事業費></p> <p>【所管：健康推進課】 1,452千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬（会計年度任用職員（保健師・管理栄養士）） 1,019千円 旅費（会計年度任用職員の費用弁償） 36千円 普通旅費（職員の会議・研修会への参加旅費） 12千円 消耗品費（指導パンフレット、個別カルテ等） 206千円 燃料費（公用車ガソリン代） 93千円 印刷製本費（封筒印刷代） 26千円 通信運搬費（郵送・返信代） 60千円 <p>【所管：保険事業課】 476千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 手数料（国保データベースに係るデータ管理手数料） 450千円 負担金（国保データベースに係る運用サポート費用） 26千円 			
		対象者	支援率	延べ支援件数																			
重症化予防	148人	100%	218件																				
	対象者	支援率	延べ支援件数																				
低栄養	94人	100%	176件																				
<p><集団支援（ポピュレーションアプローチ）>【所管：健康推進課】</p> <p>高齢者の集いの場で、フレイルチェックシート（市独自作成）を活用したフレイル予防の健康教育とハイリスク者の相談・支援を実施 14回実施 対象者数：延べ264人</p>			成果・課題	<p>○重症化予防対策では、訪問等の個別支援により対象者の約6割が受診につながり、約7割が生活改善に取り組めた。国保から後期高齢者医療へと切れ目のない支援をすることができた。</p> <p>○健康状態不明者には、訪問等により健康状態を把握し必要な支援につなげることができた。</p> <p>○低栄養者の個別支援、集いの場でのフレイル予防講座を実施し、フレイル予防の取組と普及啓発ができた。</p> <p>○個別支援のきめ細かな支援実施のための専門職の確保が必要である。</p>																			